

河川改修事業の再評価項目調書

事業名（箇所名）	小瀬川直轄河川改修事業								
実施箇所	小瀬川水系直轄管理区間								
該当基準	再評価実施後一定期間（3年）が経過している事業								
事業諸元	一般改修（堤防整備、橋梁架替等） 管理延長 小瀬川 L=13.4km								
事業期間	小瀬川直轄河川改修事業（整備期間30年）：平成25年～平成54年 当面想定している事業（整備期間 7年）：平成25年～平成31年								
総事業費（億円）	（整備期間30年） 105		残事業費（億円）		（整備期間30年） 105				
	（整備期間 7年） 18				（整備期間 7年） 18				
目的・必要性	<p>小瀬川は広島県と山口県の県境に位置し、その源を中国山地の鬼ヶ城山、羅漢山などを要する連山の広島県廿日市市飯山に発し、途中玖島川を合わせて南下し、瀬戸内海に注ぐ、流域面積340km²、幹川流路延長59kmの一級河川である。小瀬川本川の河床勾配は弥栄ダムを境に、上流部は1/150～1/90程度の急流河川、下流部は1/960～1/1,300の緩流河川となっている。また、流域の約96%を山地等が占めており、江戸後期以降の干拓・埋め立てによって形成された河口部の低平地に人口・資産が集中している。</p> <p>小瀬川下流部の大竹市・和木町は、干拓等によって形成された低平地に発達しているため、洪水・高潮被害が発生した場合には、下流市街地に甚大な被害が発生する恐れがある。また、基準地点の両国橋付近は河積不足のため流下能力が相対的に低く、浸水被害のリスクが高い箇所となっている。</p> <p>昭和20年9月等の台風性降雨により記録的な洪水が発生しており、近年でも平成17年9月洪水で基本高水流量にせまる洪水が発生している。以上の状況から、早急な対策が望まれている。</p> <p>（洪水実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和20年 9月洪水（枕崎台風）：家屋流出又は全壊2,417戸 ・昭和26年10月洪水（ルース台風）：家屋流出又は全壊 450戸 ・平成17年 9月洪水（台風14号）：家屋流出又は全壊 12戸 <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：大竹市史、水害統計</p> <p>（災害発生時の影響：想定氾濫区域内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口：約23,000人 ○世帯数：約9,200世帯 ○重要な公共施設等：和木町役場、大竹警察署、JR山陽本線、国道2号線 国土交通省太田川河川事務所 小瀬川出張所 ○災害弱者関連施設：総合福祉センター サンドピア大竹 								
便益の主な根拠	年平均浸水軽減世帯数 356世帯（当面想定している事業 1世帯） 年平均浸水軽減面積 33ha（当面想定している事業 6ha）								
事業全体の投資効率性	B: 総便益	(億円)	C: 総費用	(億円)	B/C	B-C	EIRR	基準年度	
	直轄河川改修事業	総便益	303	総費用	59	5.0	243	16.1%	H24
	当面想定している事業（整備期間6年）	総便益	30	総費用	16	1.9	15	8.1%	H24
事業の効果等	<p>・弥栄ダムを有効活用しつつ、基本方針規模の浸水被害を防止する。 （1/100確率相当（両国橋地点）洪水、及び1/100確率相当高潮が発生した場合）</p> <p>浸水世帯数 2,054世帯 ⇒ 0世帯（当面想定している事業 ⇒1,909世帯） 浸水面積 248ha ⇒ 0ha（当面想定している事業 ⇒181ha） 被害額 231億円 ⇒ 0億円（当面想定している事業 ⇒185億円）</p>								
社会情勢等の変化	<p><地域状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷額は減少傾向だが、岩国市、大竹市の経済を支える重要産業が集積 ・主要地方道岩国大竹線関々バイパスが平成17年11月に供用し、交通量が増加（小瀬地 								

	<p>区の未改良)</p> <p><事業に関わる地域の土地利用、人口、資産等の変化></p> <p>【主要自治体（大竹市）指標】</p> <p>○人口：0.95倍（28,836人／30,279人） 〈H22数値／H17数値〉</p> <p>内高齢者率：1.16倍（29.1／25.1） 〈 〃 〉</p> <p>○世帯数：1.02倍（11,834世帯／11,594世帯） 〈 〃 〉</p> <p>○事業所：0.97倍（1,501事業所／1,553事業所） 〈H18数値／H13数値〉</p> <p>○従業者：0.99倍（14,528人／14,639人） 〈 〃 〉</p>
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小瀬地区においては、事業着手しており道路管理者と連携し順調に事業が進捗している。
事業の進捗の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・道路管理者との協力体制が確立されており、早期の完成に向けて効率的で効果的な事業を継続する。
コスト削減や代替案立案等の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、河川整備計画の策定作業中であり、有識者及び地域住民からの意見を踏まえつつ、関係機関と協議・調整を図りながら、コスト削減や事業の効果・効率性等を考慮して、整備内容等を定める。
対応方針（原案）	継続
対応方針理由	<ul style="list-style-type: none"> ・治水安全度向上の必要性、費用対効果、地元の協力体制等を鑑み、継続が妥当である。 ・早期の治水安全度向上に向け、引き続き事業の推進を図り、早期に完成させることが必要。 ・今後の詳細な設計段階において更なるコスト削減を図るとともに、環境にも配慮して事業を進め、より一層の事業効果の発現に努める。
その他	—

小瀬川直轄河川改修事業 事業再評価

国土交通省 中国地方整備局

平成24年12月14日

① 小瀬川流域の概要、事業の目的、必要性

② 整備目標(案)、整備期間(案)、実施内容(案)、費用便益比 (B/C) 算出の流れ

③ 事業の費用対効果分析

・ 便益の算出方法、費用便益比 (B / C) 算出、事業効果

③-1 全体事業(案) 【H25 ~H54】

③-2 当面7年間(案) 【H25 ~H31】

④ 今後の対応方針 (原案)

小瀬川流域の概要

- 小瀬川は、その源を中国山地の鬼ヶ城山（標高1,031m）、羅漢山（標高1,190m）などを要する連山の広島県廿日市市飯山に発し、途中玖島川を合わせて、広島県・山口県の県境を南下し、瀬戸内海に注ぐ、流域面積340km²、幹川流路延長59kmの一級河川
- 小瀬川上流部は河床勾配が1/90～1/150程度と急勾配、弥栄ダムより下流では、1/960～1/1300と緩やかな勾配
- 流域の約96%を山地等が占め、江戸後期以降の干拓・埋め立てによって形成された河口部の低平地に人口・資産が集中

位置図

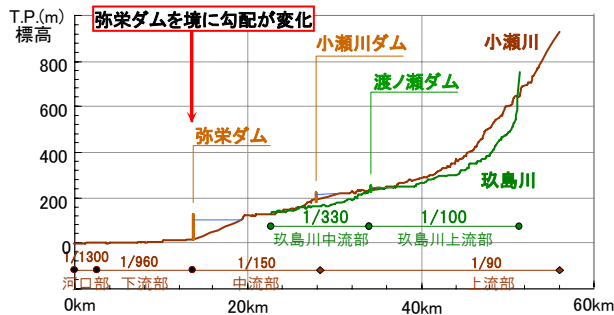


流域及びはん濫域の諸元

流域面積	: 340km ²
幹川流路延長	: 59km
流域内人口	: 約2万4千人
想定はん濫区域面積	: 約9km ²
想定はん濫区域内人口	: 約2万3千人
想定はん濫区域内資産	: 約4,600億円
主な市町村	: 廿日市市、大竹市、岩国市、和木町

(※) 出典：平成17年河川現況調査（H17年基準）より

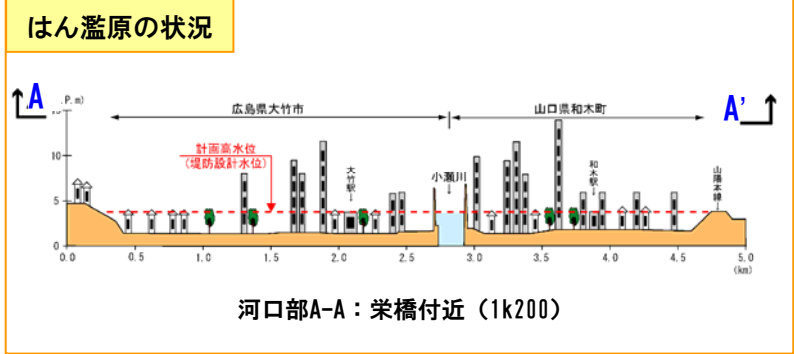
小瀬川の縦断図



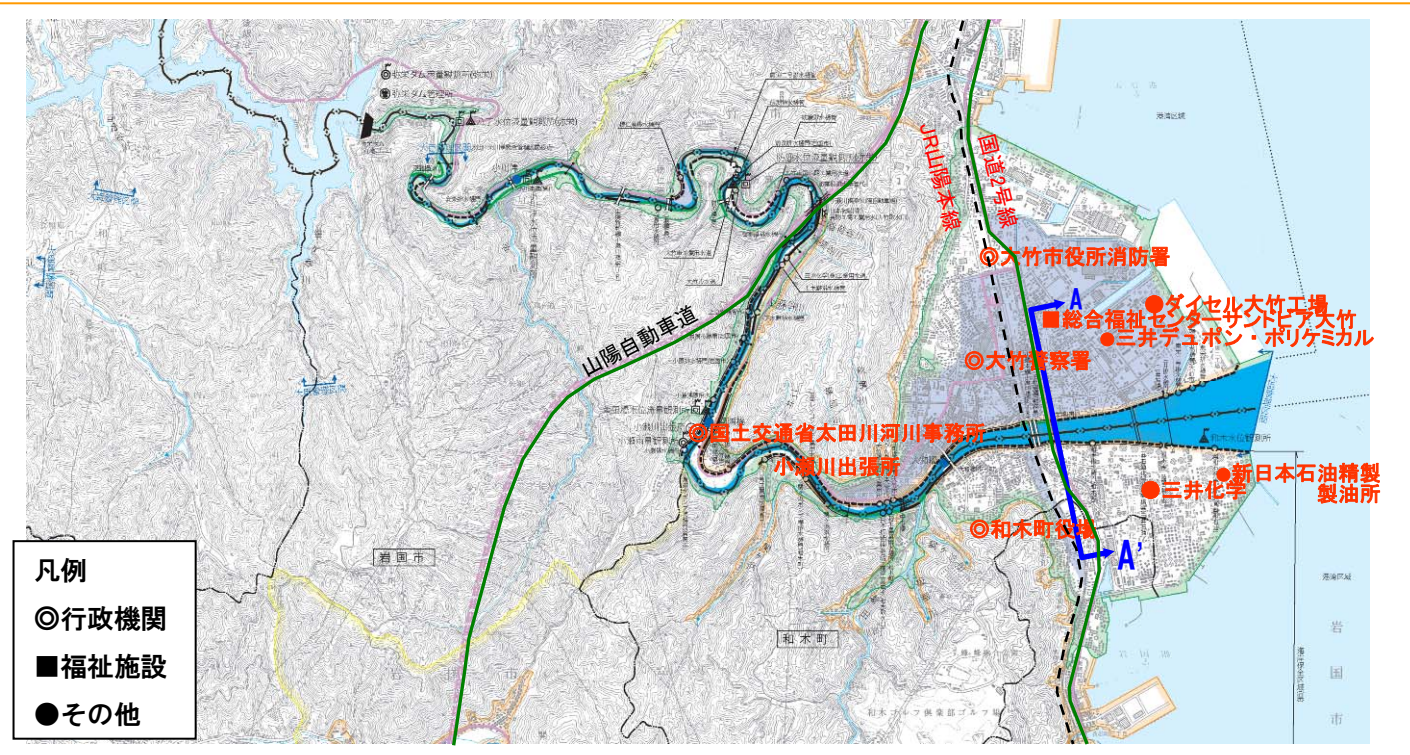
河口部低平地の資産集中状況

事業の目的・必要性(小瀬川流域の特徴)

- 小瀬川の運搬する土砂での堆積で発達した三角州と、江戸後期以降の干拓・埋立によって形成されている河口部には、全国のコンビナートの先駆けとなる「大竹・岩国石油コンビナート」が形成されている。
- 干拓・埋め立てによって形成されている河口部は、低平地であり、洪水・高潮被害が発生した場合には下流市街地に甚大な被害が発生する。



- ### はん濫域内の重要な公共施設
- ・行政機関
 - 和木町役場
 - 大竹警察署
 - 大竹市役所 消防署
 - 国土交通省太田川河川事務所
 - 小瀬川出張所
 - ・医療福祉施設
 - 総合福祉センター サンドピア大竹
 - ・その他
 - 大竹港、三井化学
 - 新日本石油精製製油所
 - 三井デュポン・ポリケミカル
 - ダイセル大竹工場
 - ・交通網
 - JR山陽本線、国道2号線



事業の目的・必要性(過去の洪水被害)

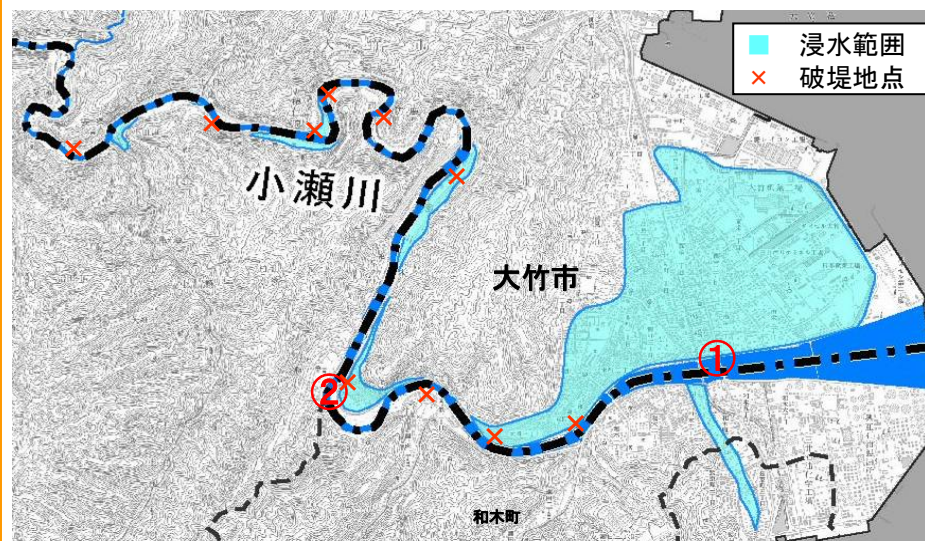
■昭和26年10月のルース台風等、戦後の洪水被害を契機に、昭和36年以降に広島・山口両県により本格的な河川改修事業に着手
 ■平成17年9月の台風14号では、基本高水流量にせまる過去最大の洪水が発生。弥栄ダム上流域でも河岸侵食による建物の損壊・道路崩壊等の甚大な被害が発生

主な洪水と被害状況

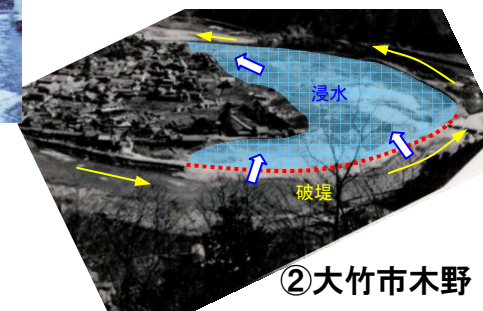
発生年月日	発生原因	両国橋地点流量	流域の浸水被害	備考
S20.9	枕崎台風	約1,300m ³ /s (推定※1)	死者・行方不明者(人):76 重軽傷者(人):7 家屋流出または全壊(戸):2,417 田畑流出(町歩):56	出典:大竹市史ほか
S26.10	ルース台風	約2,100m ³ /s (推定※1)	死者・行方不明者(人):66 重軽傷者(人):284 家屋流出または全壊(戸):450 田畑流出(町歩):596	出典:大竹市史ほか
H17.9	台風14号	約2,800m ³ /s (推定※2)	死者・行方不明者(人):0 重軽傷者(人):0 家屋流出または全壊(戸):12 田畑流出(町歩):59	出典:水害統計

※1:流出計算による推算値 ※2:ダム・氾濫戻しによる推算値

昭和26年10月洪水(ルース台風)時の被災状況



①大竹市西栄



②大竹市木野

H17年9月洪水時の被害状況(支川 玖島川)



友和地区の河岸洗掘



玖島地区の河岸侵食

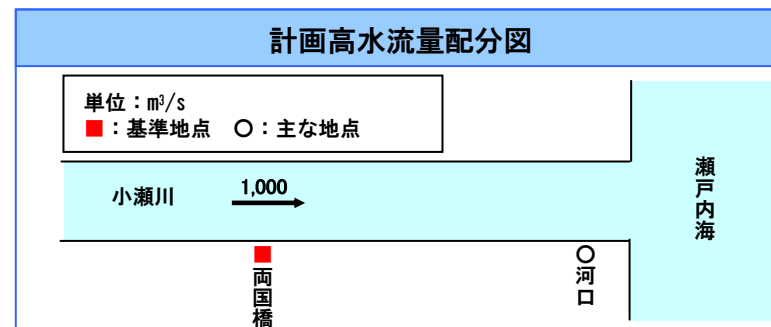
小瀬川における洪水対策及び高潮対策の基本諸元

- 計画高水流量は小瀬川水系河川整備基本方針において基準地点両国橋において1,000m³/sと設定
- 小瀬川では、工事実施基本計画において高潮計画諸元（計画高潮位：TP.+3.75m、計画高潮堤防高：TP.+5.85m、いずれも新標高に換算）が設定されている（基本方針では、計画高潮位：TP.+3.75mのみ設定）
- 上記計画諸元は伊勢湾台風規模の台風がルース台風コースを通過した場合を想定して設定
- 近年の水文資料を用いた統計解析により上記高潮計画諸元を評価した結果、計画諸元は概ね1/100発生年確率相当となっている

洪水対策の諸元

■ 計画高水流量に関する事項

- ・ 基準地点両国橋において1,000m³/sとし、河口まで同流量とする。



高潮対策の諸元

■ 工事実施基本計画における高潮堤防高の考え方

- ・ 計画台風：伊勢湾台風規模・ルース台風コース
- ・ 計画高潮位：TP.+3.75m（確率規模1/100に相当※）

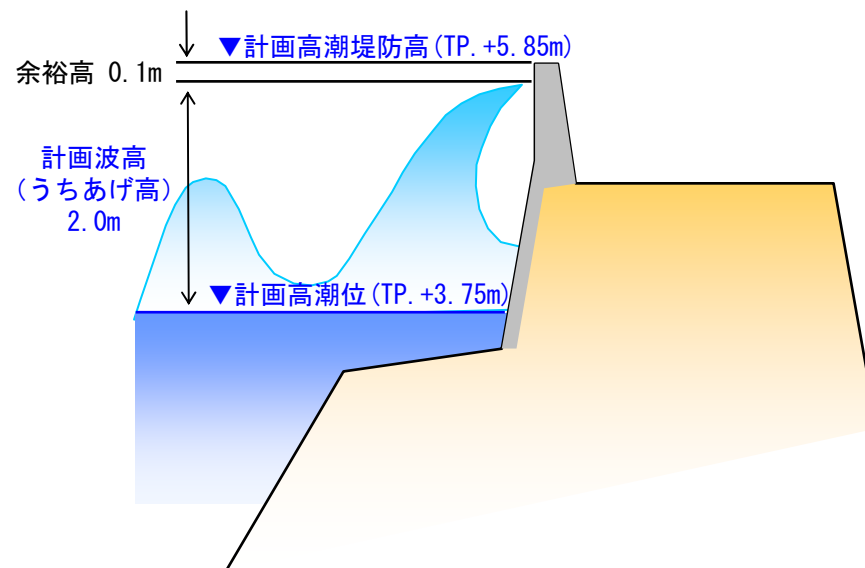
※確率潮位偏差より算定（統計期間：S55～H23、和木水位観測所）

- ・ 計画波高：2.0m（確率規模1/100に相当※）

計画台風による沖波波高（ $H_0=2.3\text{m}$ 、波向SE）から堤防に対するうちあげ高（2.0m）を算出

※確率風速より算定（統計期間：S55～H23、大竹気象観測所）

- ・ 余裕高：0.1m（既往計画を踏襲）
- ・ 計画高潮堤防高 = 計画高潮位 + 波高 + 余裕高
 = TP.+3.75m + 2.0m + 0.1m
 = TP.+5.85m

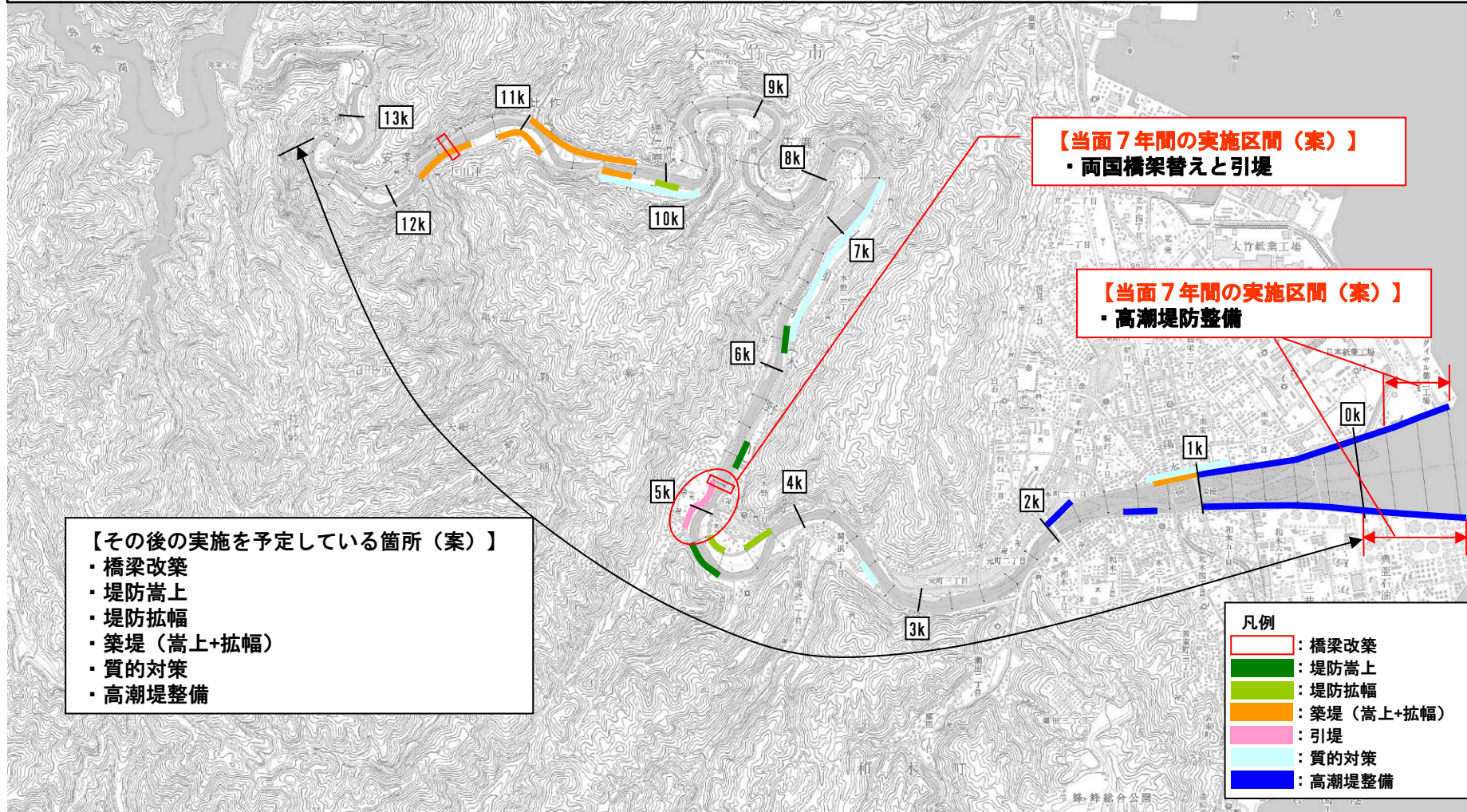


事業の整備目標(案)・整備期間(案)・実施内容(案)

■河川整備計画が未策定のため、全体の整備目標(案)については、整備期間を30年とし、以下の整備内容とした。

- ・高潮対策については計画堤防高まで整備。
- ・洪水対策については弥栄ダムを有効活用しつつ、基本方針規模の洪水が発生した場合にも浸水被害の防止を図るために必要な整備。

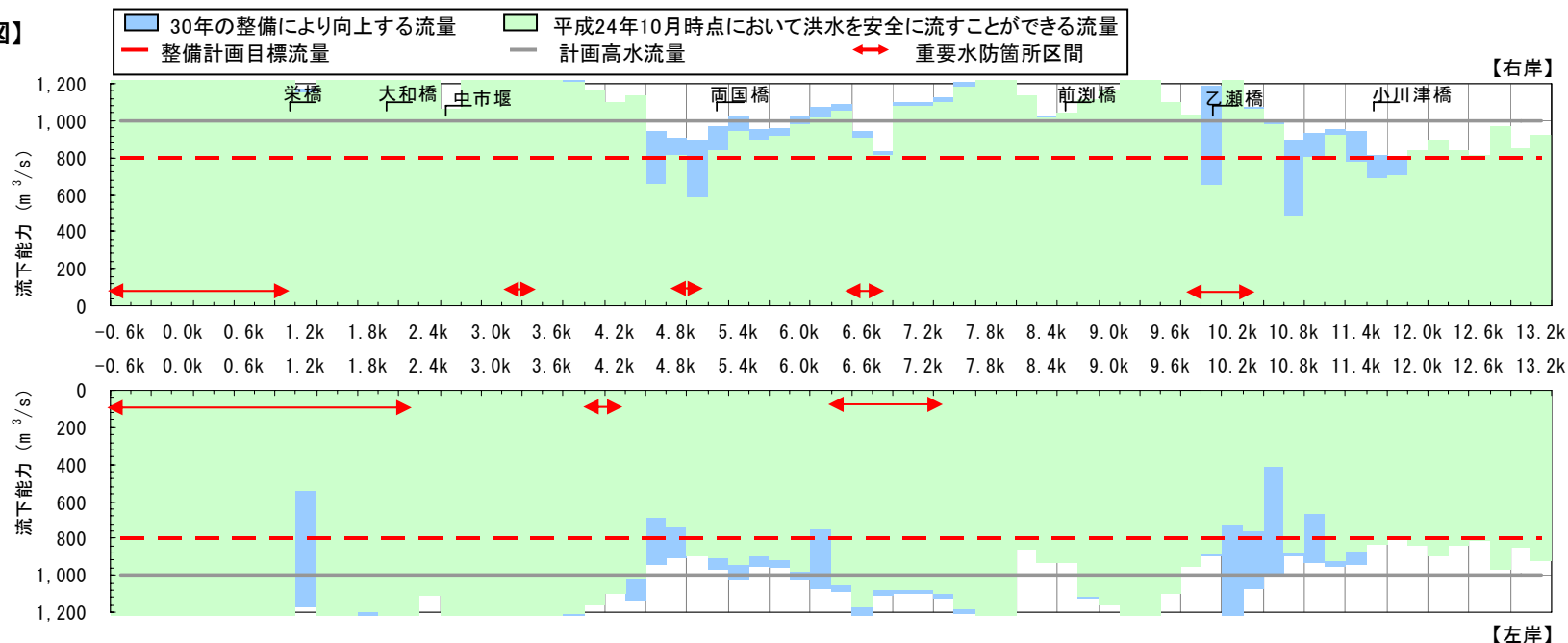
■当面7年間の整備目標(案)としては、高潮堤防の整備(一部区間)と両国橋架替え・引堤を設定。



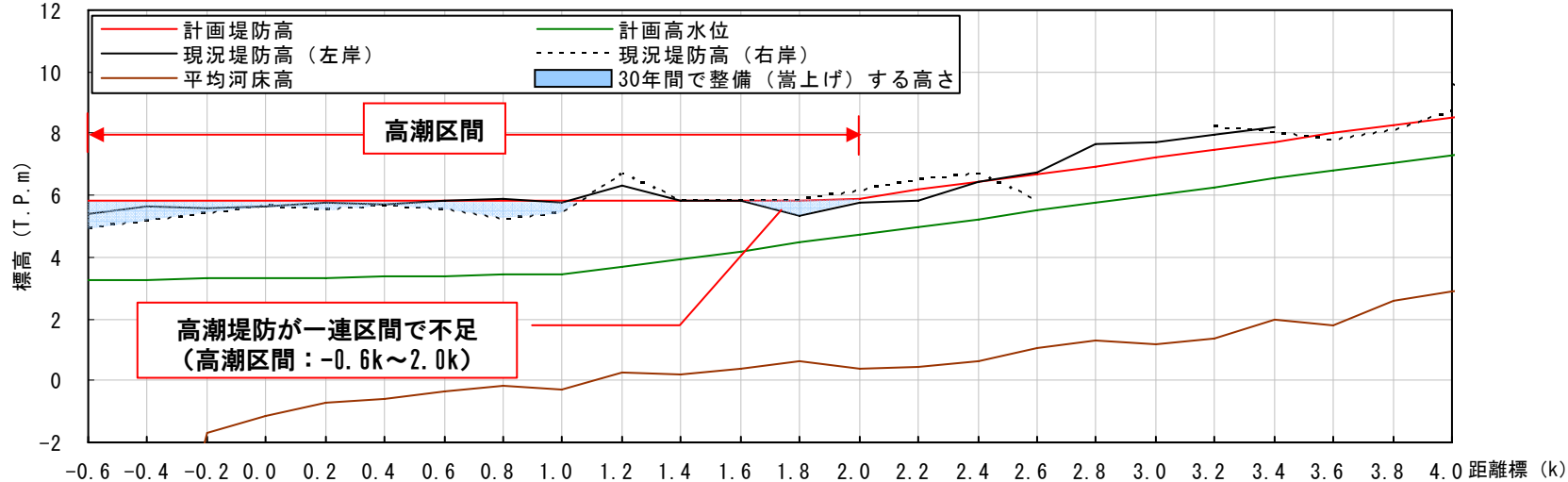
全体実施内容(案)と流下能力、高潮区間堤防高

- 洪水対策としては、流下能力800m³/s確保に必要な整備を実施。
- 高潮区間は計画堤防高まで整備完了。

【流下能力図】



【高潮区間】



(参考)H24.7九州豪雨災害等を踏まえた堤防緊急点検結果 国土交通省

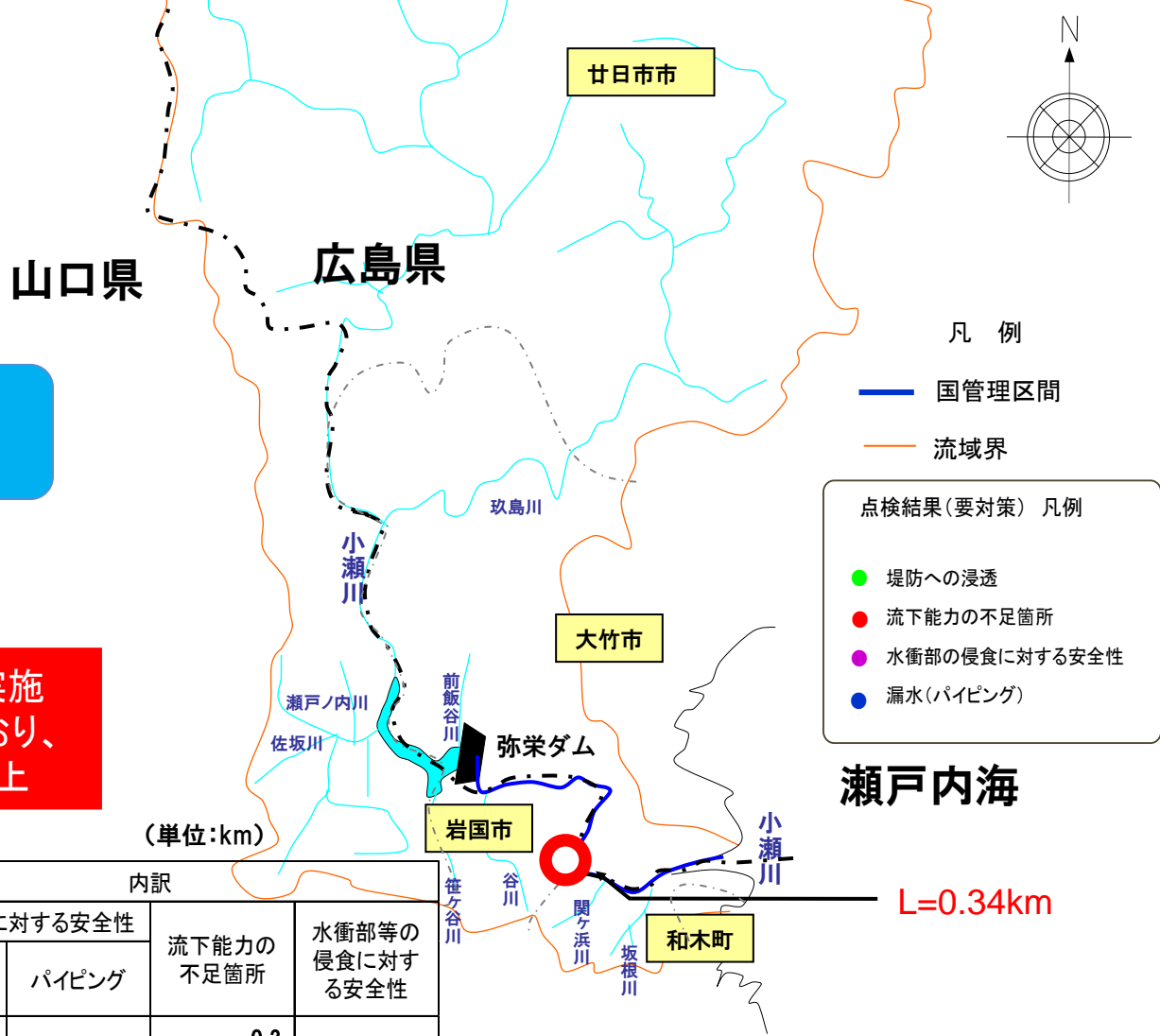
■ 7月の九州の豪雨災害を踏まえて、全国で堤防等の緊急点検が行われ記者発表されたが、これはあくまで短期間に整備が可能な箇所を計上したもの。
 ■ 小瀬川では、河川整備計画が未策定のため、以下の通り、現在実施中の両国橋架替え関係のみ計上。

11

堤防の緊急点検結果 概要図 <小瀬川:国管理区間>

<緊急点検結果>

※今回の点検結果は、短期的に実施が可能な箇所のみを計上しており、小瀬川では両国橋関係のみ計上



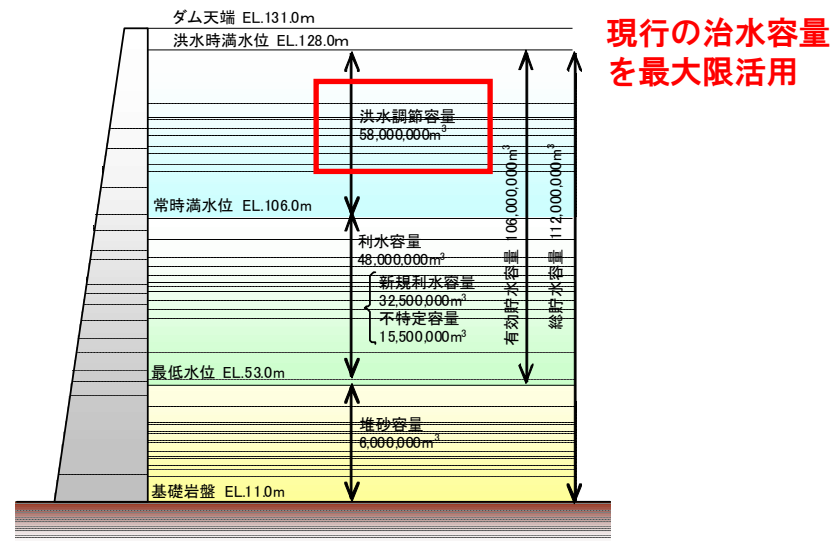
(単位:km)

直轄河川 堤防延長	点検対象 堤防延長	要対策延長 (各対策の 重複除く)	内訳			
			堤防の浸透に対する安全性		流下能力の 不足箇所	水衝部等の 侵食に対する 安全性
			堤防への浸透	パイピング		
19.7	9.2	0.3	-	-	0.3	-

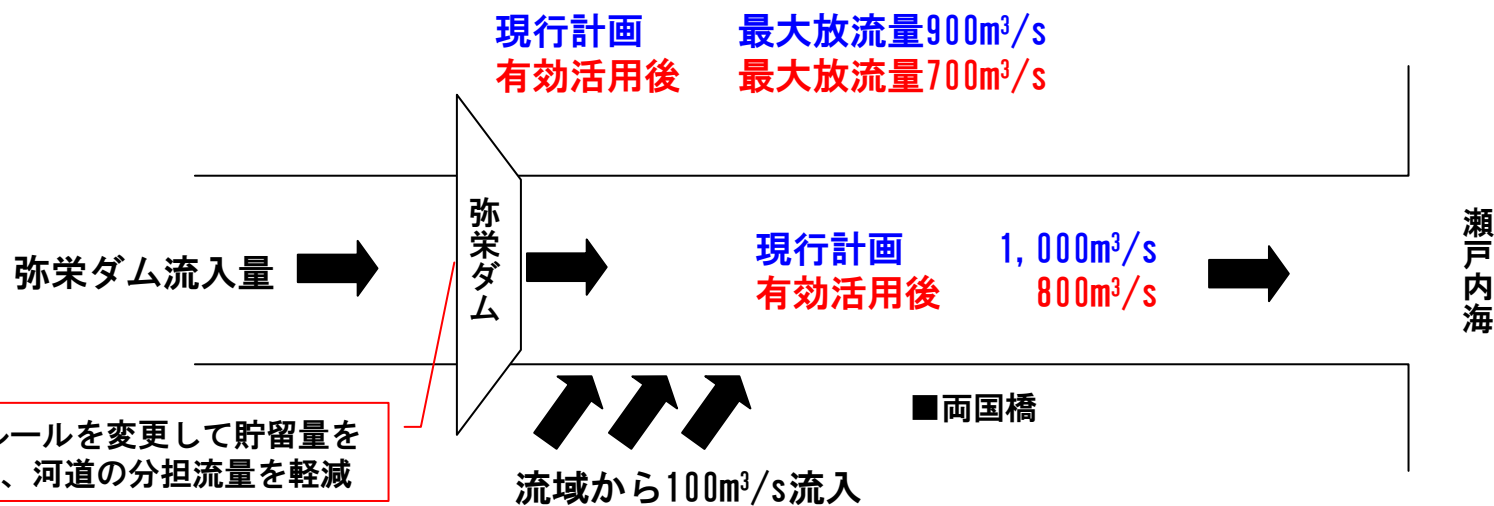
(参考) 弥栄ダム治水容量の有効活用

■ 現行の治水容量を最大限活用して河道の分担流量を軽減(1,000m³/s → 800m³/s)

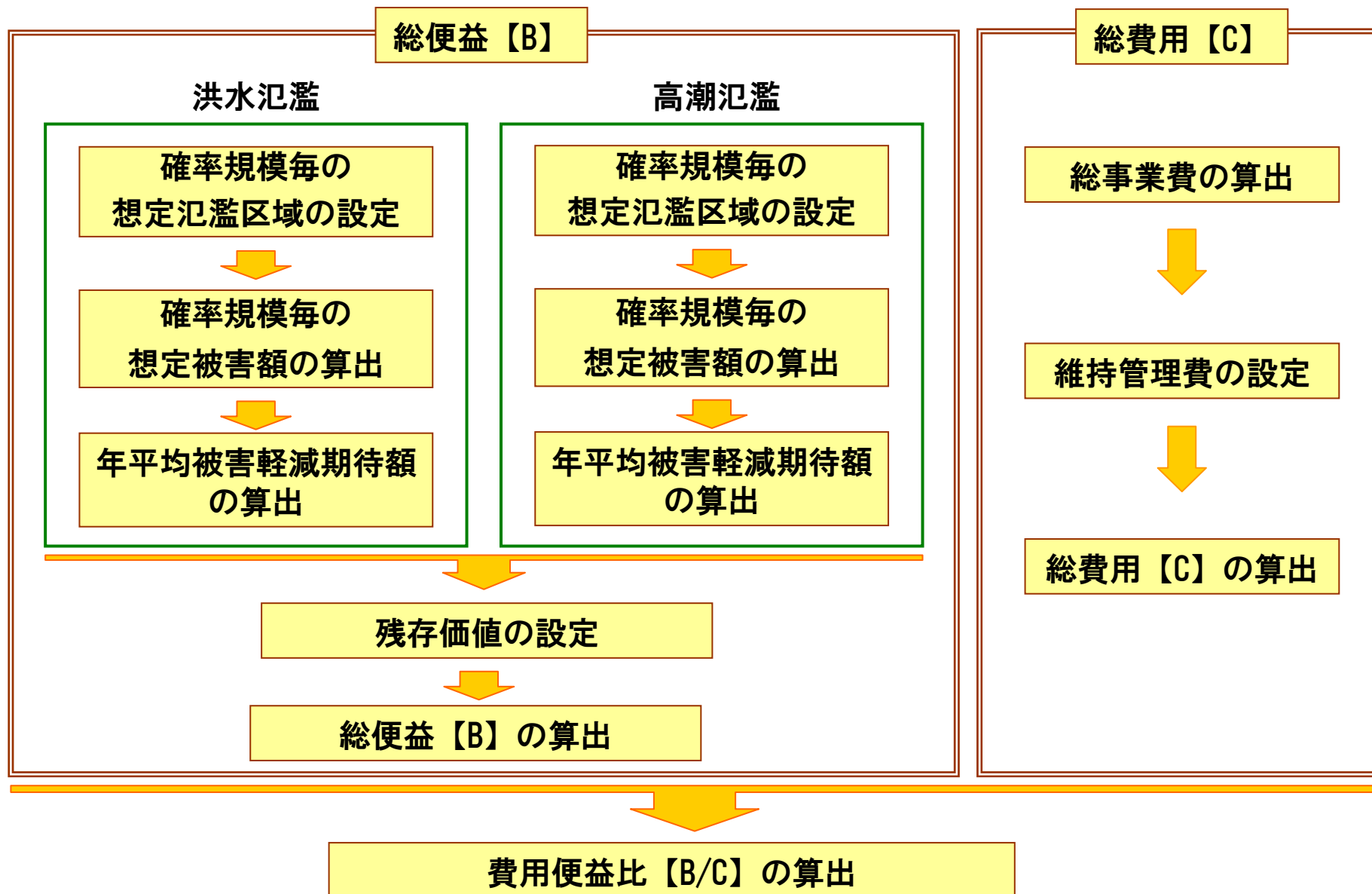
弥栄ダムの概要



治水容量有効活用



費用便益比 (B/C) 算出の流れ



全体事業(案)の費用対効果分析

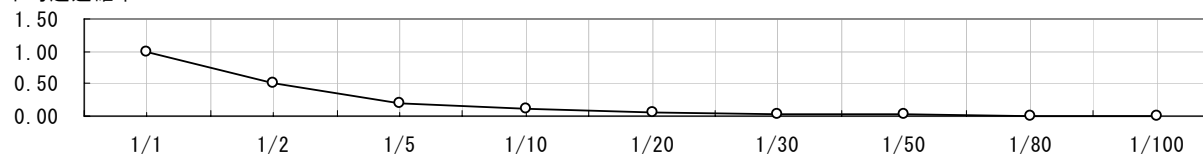
①便益の算出方法

- 計画規模1/100年確率を最大として9ケースを検討
(無害確率、1/2年、1/5年、1/10年、1/20年、1/30年、1/50年、1/80年、1/100年)
- 年平均被害軽減期待額は約25.7億円

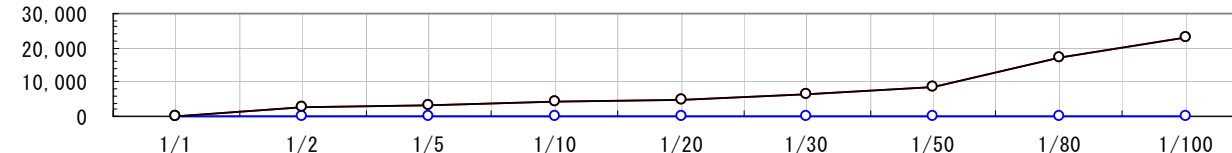
**年平均被害
軽減期待額**

確率規模	年平均 超過確率	被害額 (百万円)			区間平均 被害額 ④	区間確率 ⑤	年平均 被害額 ④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額 (百万円)
		事業を 実施しない場合 ①	事業を 実施した場合 ②	被害軽減額 ③ = ① - ②				
1/1 (無害流量)	1.000	0	0	0				
1/2	0.500	2,761	0	2,761	1,381	0.500	690	
1/5	0.200	3,455	0	3,455	3,108	0.300	932	
1/10	0.100	4,191	0	4,191	3,823	0.100	382	
1/20	0.050	4,741	0	4,741	4,466	0.050	223	
1/30	0.033	6,313	0	6,313	5,527	0.017	92	
1/50	0.020	8,601	0	8,601	7,457	0.013	99	
1/80	0.013	17,362	0	17,362	12,982	0.008	97	
1/100	0.010	23,138	0	23,138	20,250	0.003	51	

年平均超過確率



被害額 (百万円)



- 事業を実施しない場合①
- 事業を実施した場合②
- 軽減額 ③=①-②

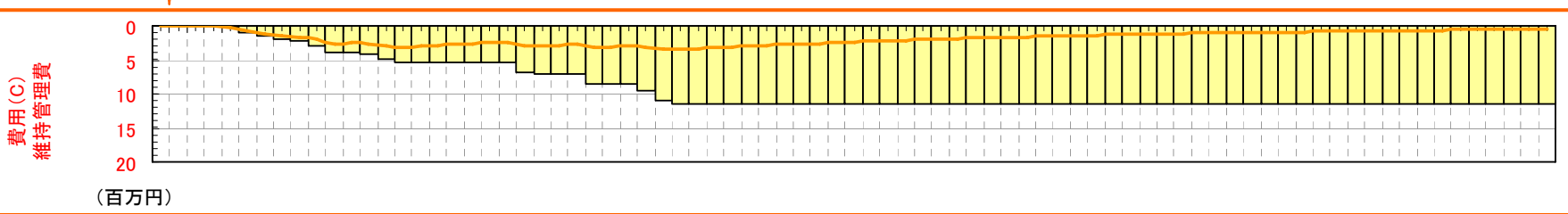
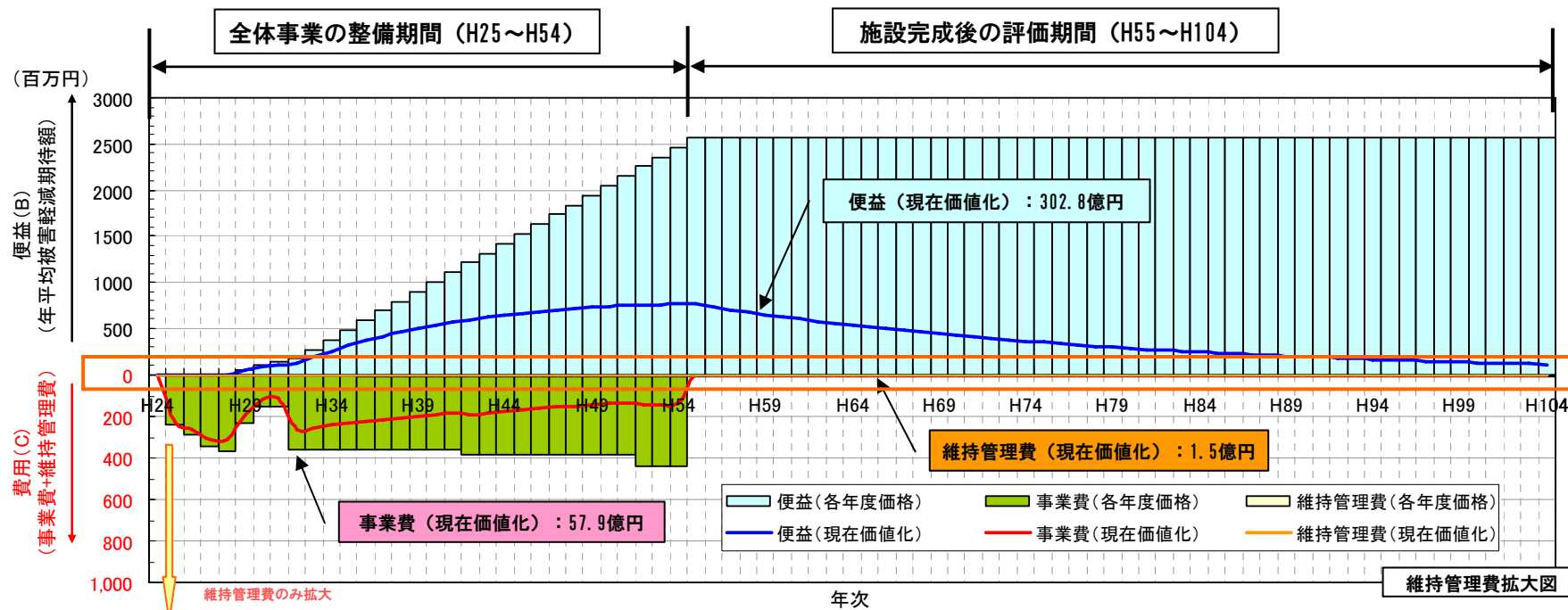
②費用便益比 (B/C) の算出

■便益の整理

- ・ ①で算出した評価期間中に発現する便益を、社会的割引率(4%)で割り引いた上で集計
- ・ 施設完成後の評価期間後に生じる残存価値を算定

■費用の整理

- ・ 今後見込まれる事業費、維持管理費については社会的割引率(4%)によって割り引いた上で集計



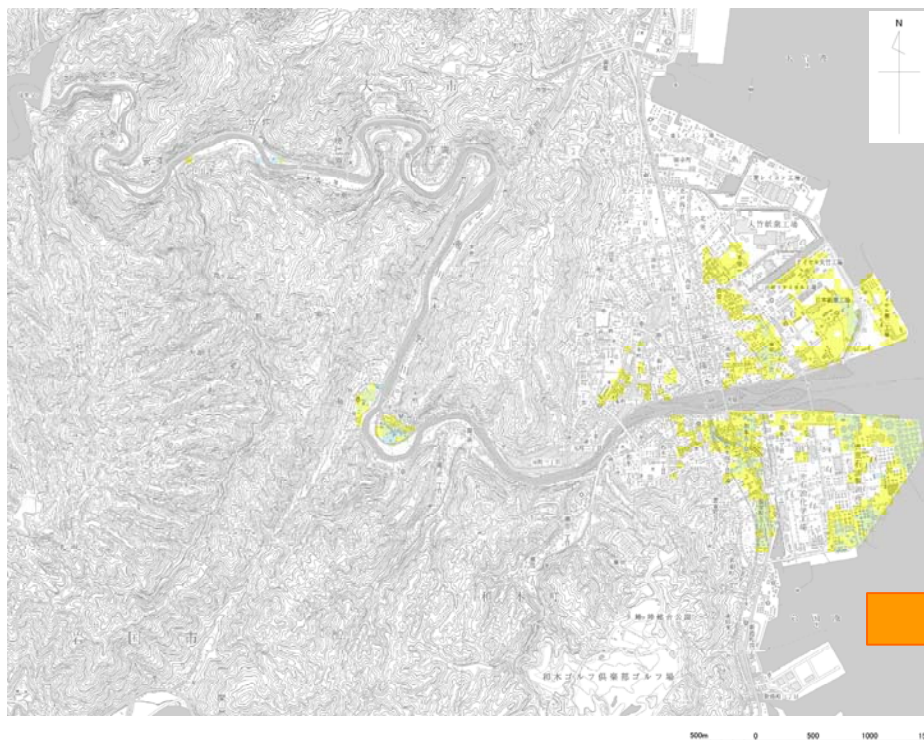
②費用便益比 (B/C) の算出

項目	全体事業
便益 (B1)	302.1 億円
残存価値 (B2)	0.7 億円
総便益 (B=B1+B2)	302.8 億円
建設費 (C1)	57.9 億円
維持管理費 (C2)	1.5 億円
総費用 (C=C1+C2)	59.4 億円
便益比 (B/C)	5.0

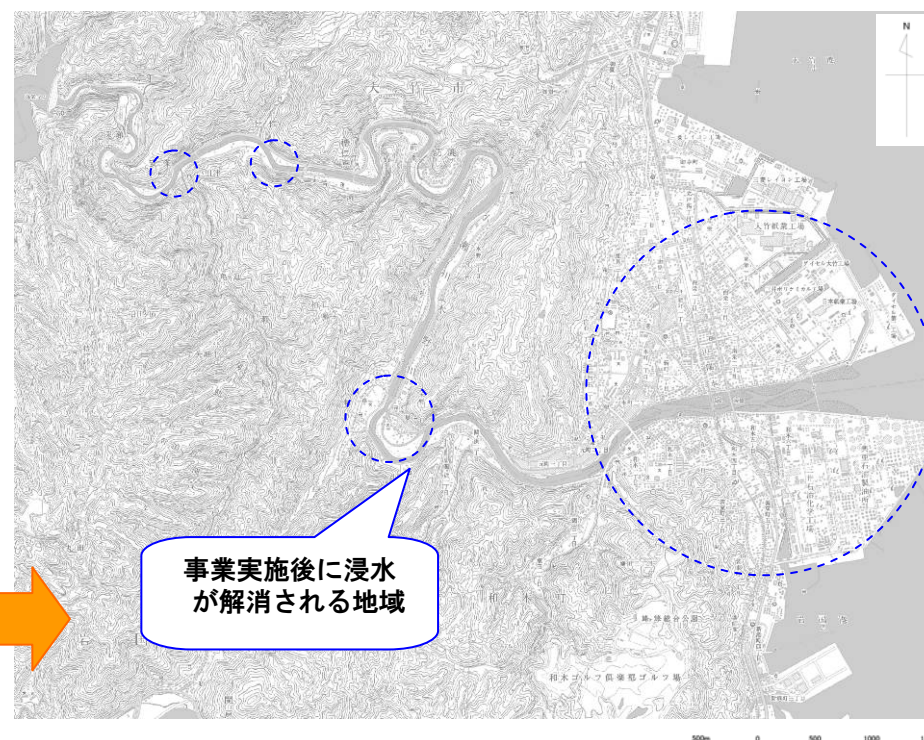
全体事業(案)の費用対効果分析

(例) 1/100確率相当(両国橋地点)洪水、及び1/100確率相当高潮が発生した場合における、現状と全体事業完成後との発生被害の比較

事業実施前



事業実施後



事業実施後に浸水が解消される地域

【凡例】

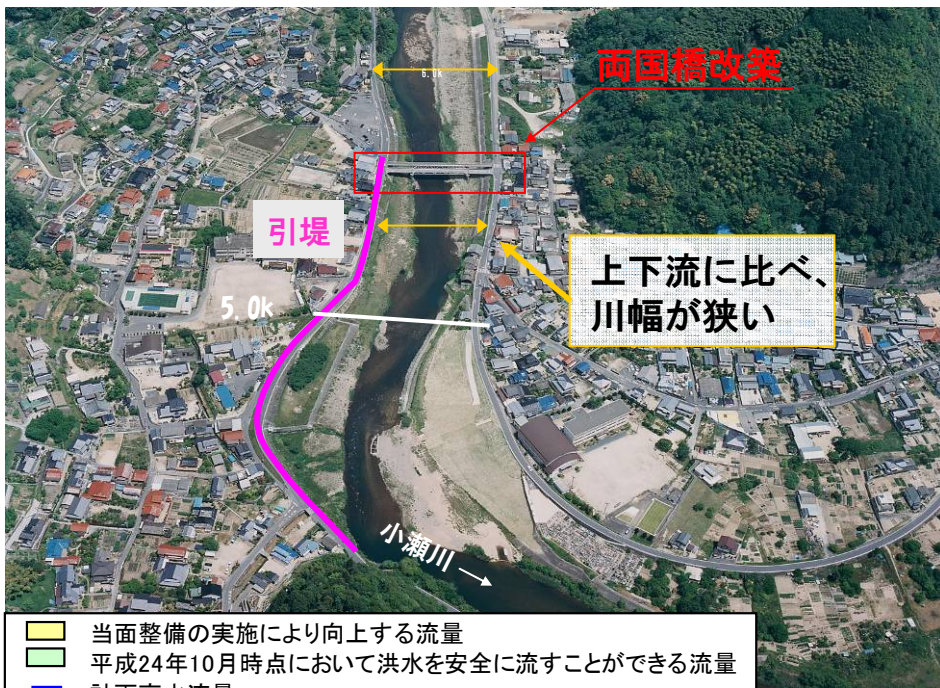
■	0.5m未満の区域
■	0.5~1.0m未満
■	1.0~2.0m未満
■	2.0~5.0m未満
■	5.0m以上

項目	想定被害
浸水世帯	2,054 世帯
浸水面積	248 ha
被害額	231 億円

項目	想定被害
浸水世帯	0 世帯
浸水面積	0 ha
被害額	0 億円

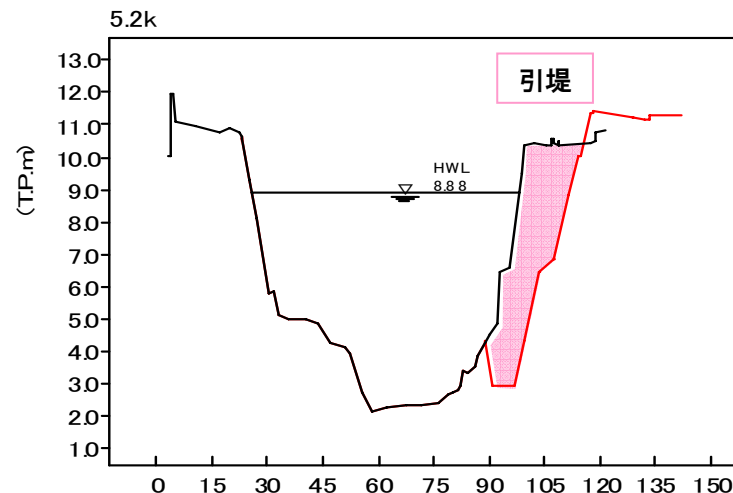
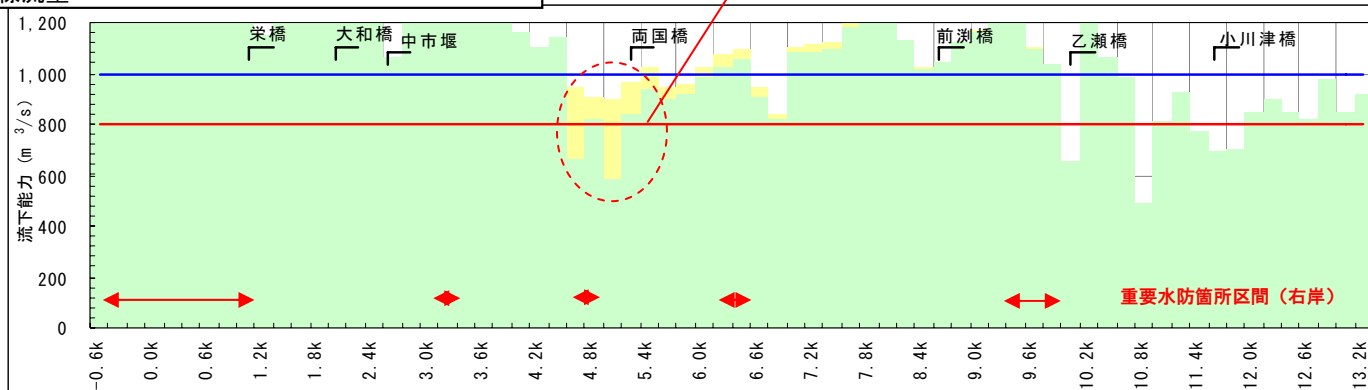
当面7年間の具体的な実施内容(案): 両国橋関係

■両国橋付近は重要水防箇所区間の中で、最も流下能力が低い箇所となるため早急に対策を行う必要がある。また、道路との共同事業であり、この機会を逃すと長期間拡幅できなくなる（平成21年より共同で実施中）



- 当面整備の実施により向上する流量
- 平成24年10月時点において洪水を安全に流すことができる流量
- 計画高水流量
- 整備計画目標流量

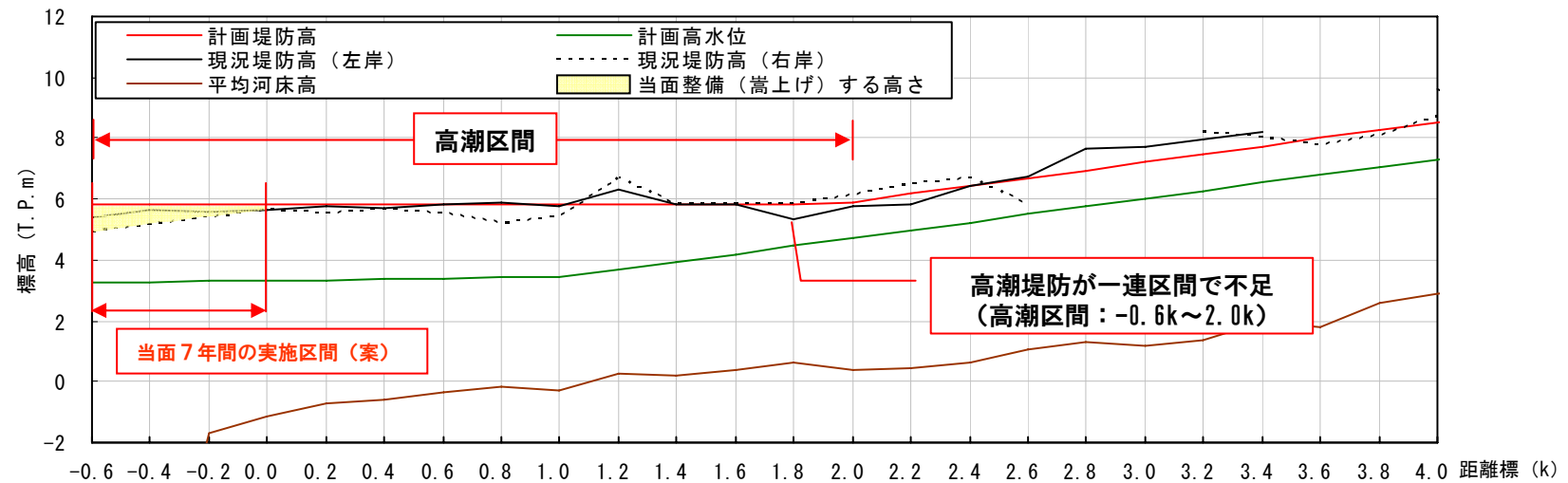
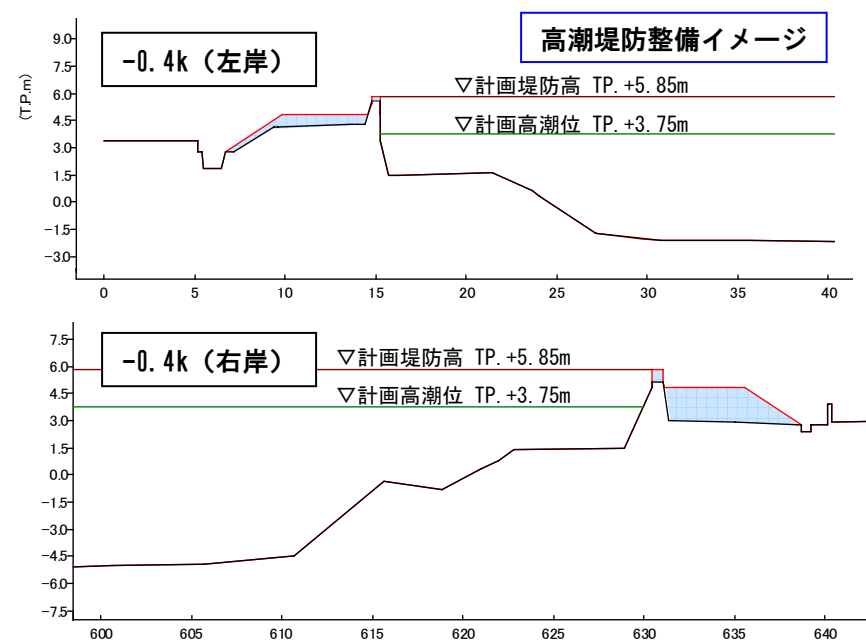
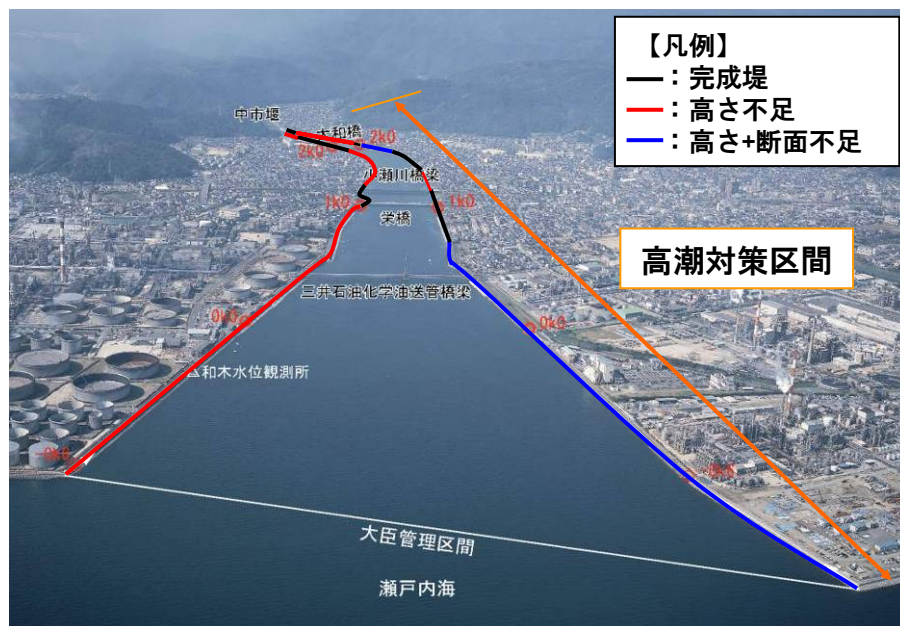
流下能力図【右岸】



中流部で流下能力が相対的に低く、浸水被害のリスクが高い

当面7年間の具体的な実施内容(案)：高潮堤防関係

■高潮区間では全区間で計画高潮位の高さは確保しているものの、計画堤防高に対しては一連区間で堤防高が不足しているため、河口から段階的に整備を行う必要がある



当面7年間の実施内容(案)の費用対効果分析

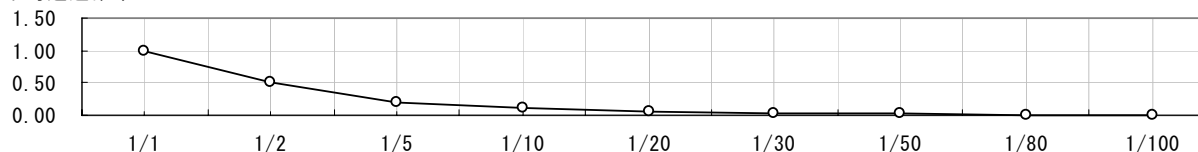
① 便益の算出方法

- 計画規模1/100年確率を最大として9ケースを検討
(無害確率、1/2年、1/5年、1/10年、1/20年、1/30年、1/50年、1/80年、1/100年)
- 年平均被害軽減期待額は約1.7億円

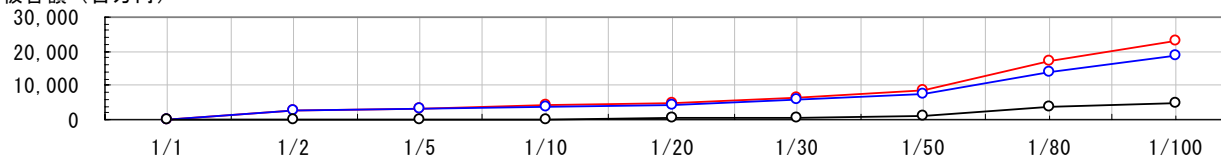
年平均被害
軽減期待額

確率規模	年平均超過確率	被害額(百万円)			区間平均被害額 ④	区間確率 ⑤	年平均被害額 ④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額 (百万円)
		事業を実施しない場合 ①	事業を実施した場合 ②	被害軽減額 ③ = ① - ②				
1/1 (無害流量)	1.000	0	0	0				
1/2	0.500	2,761	2,635	126	63	32	32	
1/5	0.200	3,455	3,235	220	173	52	83	
1/10	0.100	4,191	4,003	188	204	20	104	
1/20	0.050	4,741	4,377	364	276	14	118	
1/30	0.033	6,313	5,636	677	521	9	126	
1/50	0.020	8,601	7,280	1,321	999	13	140	
1/80	0.013	17,362	13,835	3,527	2,424	18	158	
1/100	0.010	23,138	18,529	4,609	4,068	10	168	

年平均超過確率



被害額(百万円)



- 事業を実施しない場合①
- 事業を実施した場合②
- 軽減額 ③=①-②

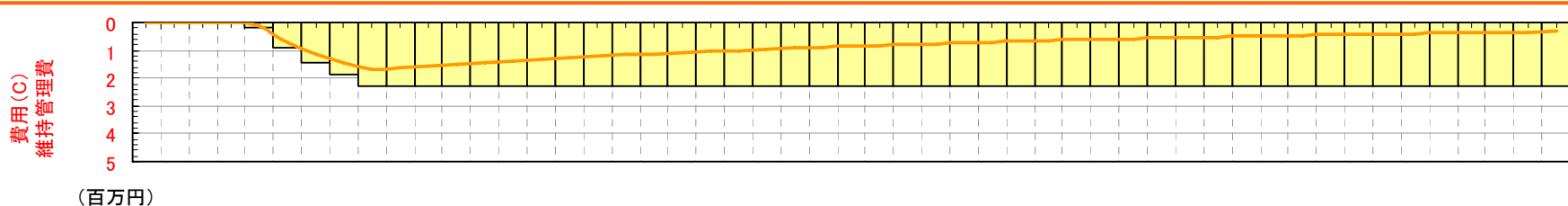
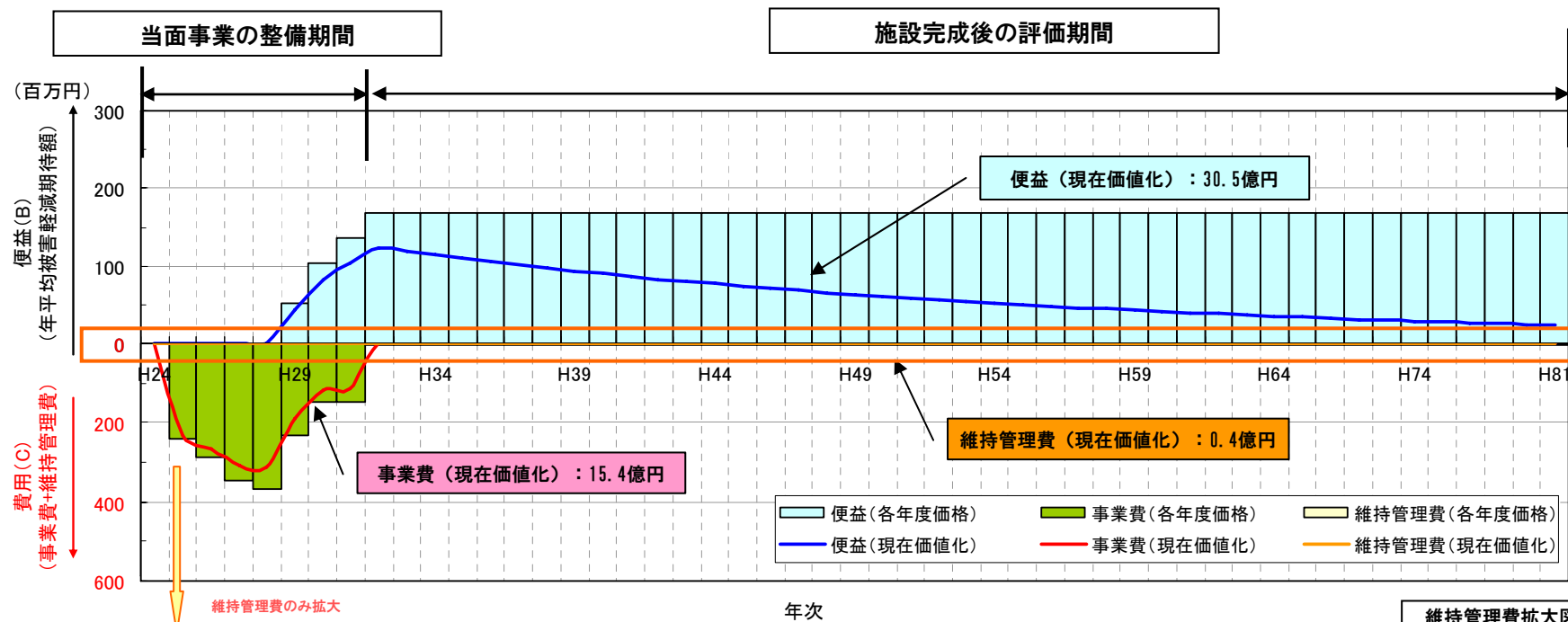
②費用便益比 (B/C) の算出

■便益の整理

- ・ ①で算出した評価期間中に発現する便益を、社会的割引率(4%)で割り引いた上で集計
- ・ 施設完成後の評価期間後に生じる残存価値を算定

■費用の整理

- ・ 今後見込まれる事業費、維持管理費については社会的割引率(4%)によって割り引いた上



当面7年間の実施内容(案)の費用対効果分析

②費用便益比 (B/C) の算出

項目	当面事業
便益 (B1)	30.0 億円
残存価値 (B2)	0.5 億円
総便益 (B=B1+B2)	30.5 億円
建設費 (C1)	15.4 億円
維持管理費 (C2)	0.4 億円
総費用 (C=C1+C2)	15.8 億円
便益比 (B/C)	1.9

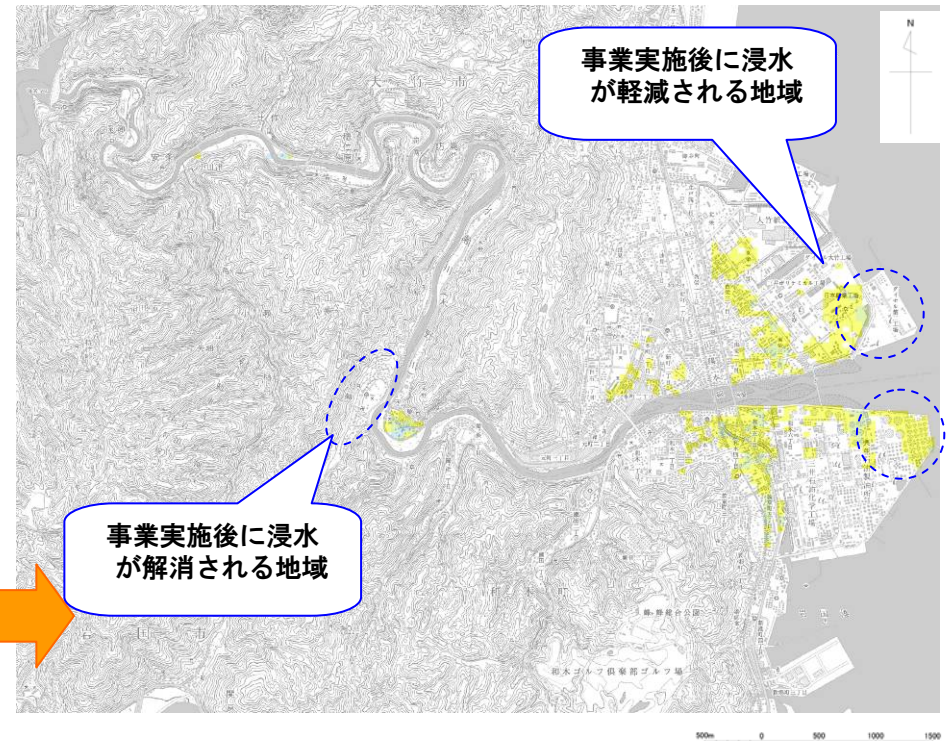
当面7年間の実施内容(案)の費用対効果分析

(例) 1/100確率相当(両国橋地点)洪水、及び1/100確率相当高潮が発生した場合における、現状と当面事業完成後との発生被害の比較

事業実施前



事業実施後



【凡例】

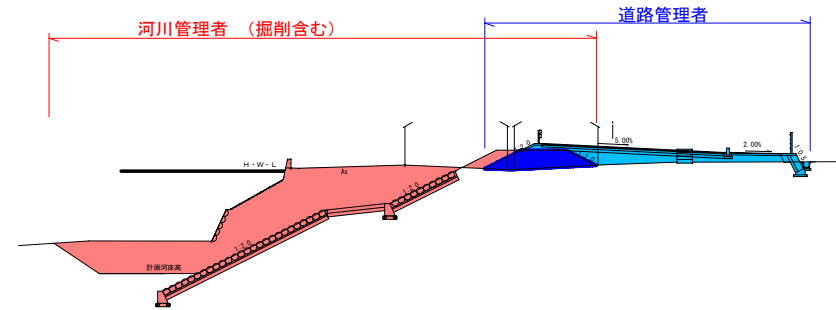
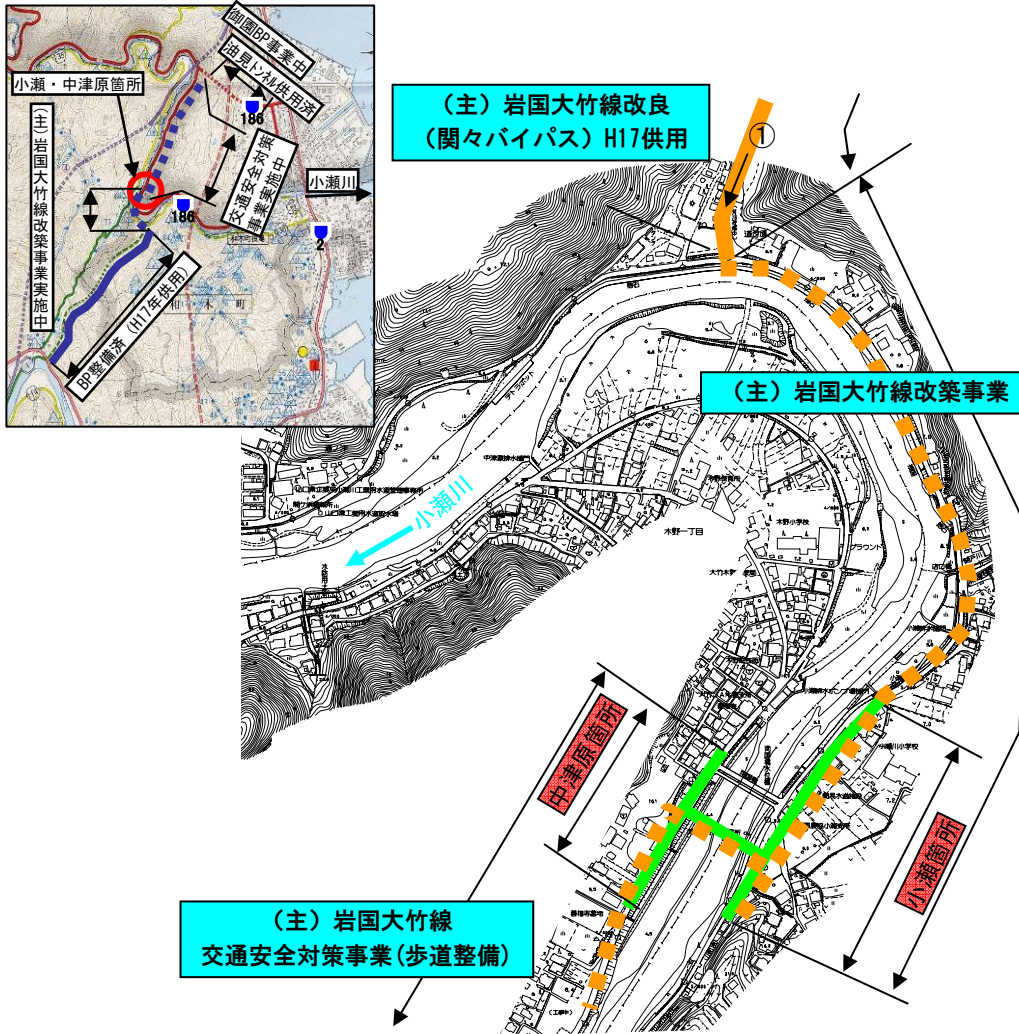
- 0.5m未満の区域
- 0.5~1.0m未満
- 1.0~2.0m未満
- 2.0~5.0m未満
- 5.0m以上

項目	想定被害
浸水世帯	2,054 世帯
浸水面積	248 ha
被害額	231 億円

項目	想定被害
浸水世帯	1,909 世帯
浸水面積	181 ha
被害額	185 億円

コスト縮減や代替案立案等の可能性

■コスト縮減：現在実施中の両国橋架替え区間も含め、(主)岩国大竹線改築事業との合併施工によりコスト縮減を図る。
 ■代替案立案等の可能性：なし



小瀬箇所、中津原箇所のコスト縮減（工事費）（百万円）

	単独施工	合併施工 負担額	差額
河川	447	383	64
道路	255	150	105

河川事業において、合併施行により、単独で実施した場合に比べ約0.6億円のコスト縮減が計れる。
 また、同様に道路事業においても約1.1億円のコスト縮減が計れる。

1. 再評価の視点

① 事業の必要性等の視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 出荷額は減少傾向だが、岩国市、大竹市の経済を支える重要産業が集積
- 主要地方道岩国大竹線関々バイパスが平成17年11月に供用し、交通量が増加（小瀬地区の未改良）

2) 事業の投資効果

- 当面7年間で実施を予定している事業の費用対効果（B/C）= 1.9
- 小瀬川直轄河川改修事業（30年間）の費用対効果（B/C）= 5.0

3) 事業の進捗状況

- 小瀬地区においては、事業着手しており道路管理者と連携し順調に事業が進捗している。

② 事業の進捗の見込み

- 道路管理者との協力体制が確立されており、早期の完成に向けて効率的で効果的な事業を継続する。

③ コスト縮減や代替案立案等の可能性

- 現在、河川整備計画の策定作業中であり、有識者及び地域住民からの意見を踏まえつつ、関係機関と協議・調整を図りながら、コスト縮減や事業の効果・効率性などを考慮して整備内容等を定める。

2. 県への意見照会結果

- 広島県：異存ありません
- 山口県：異存なし

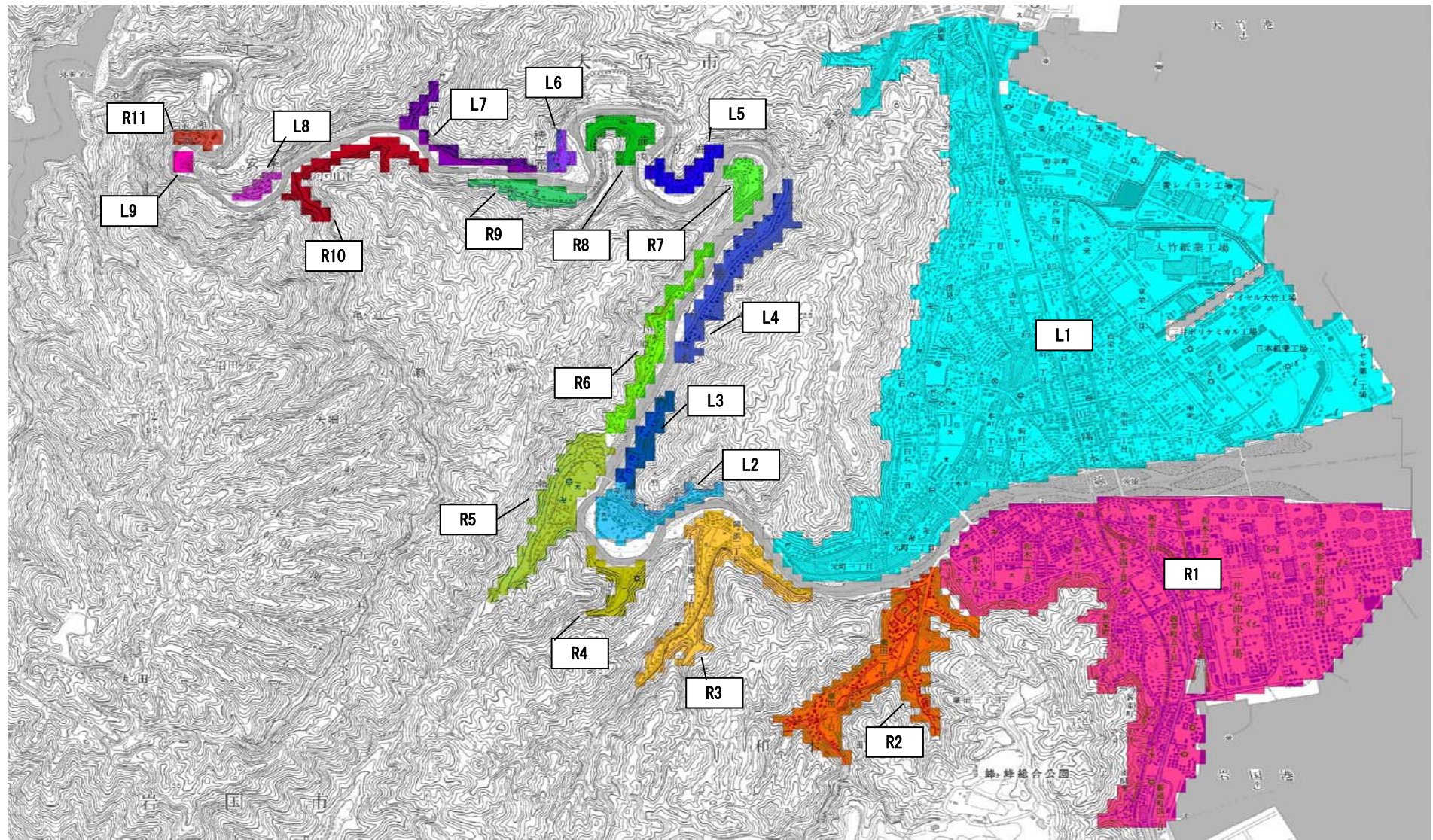
【今後の対応方針（原案）】

- 上記より、小瀬川の治水安全度向上のため**事業継続が妥当**
- 治水安全度向上の必要性、費用対効果、地元の協力体制等を鑑み、継続が妥当である。
- 早期の治水安全度向上に向け、引き続き事業の推進を図り、早期に完成させることが必要。
- 今後の詳細な設計段階において更なるコスト縮減を図るとともに、環境にも配慮して事業を進め、より一層の事業効果の発現に努める。

◆残事業、残工期、資産を個別に±10%変動させて、費用対便益比（B/C）を算定し、感度分析を行った。

	小瀬川直轄河川当面改修事業の費用対便益比（B／C）						
	基本	残事業費		残工期		資産	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
全体事業	5.0	4.6	5.6	4.7	4.9	5.3	4.8
当面7年間	1.9	1.7	2.1	1.8	1.9	2.0	1.6

小瀬川直轄河川改修事業
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕



ブロック名	ブロック面積 (km ²)	一般資産等基礎数量							一般資産額						農作物資産			一般資産額等合計 (百万円)	備考	
		人口 (人)	一般世帯数 (世帯)	事業所従業員 (人)	農漁家 (世帯)	延床面積 (m ²)	水田面積 (km ²)	畑面積 (km ²)	家屋 (百万円)	家庭用品 (百万円)	事業所資産		農漁家資産		小計 (百万円)	水稻 (百万円)	畑作物 (百万円)			小計 (百万円)
											償却 (百万円)	在庫 (百万円)	償却 (百万円)	在庫 (百万円)						
ブロックL1	5.838	17,237	6,788	8,244	57	1,373,508	0.0638	0.1321	217,228	99,475	28,844	20,738	103	26	366,415	7	41	48	366,463	
ブロックL2	0.136	439	158	87	3	18,818	0.0000	0.0027	2,977	2,312	290	256	6	1	5,842	0	1	1	5,842	
ブロックL3	0.077	117	45	27	1	2,887	0.0000	0.0000	458	653	81	71	3	1	1,266	0	0	0	1,266	
ブロックL4	0.195	148	55	7	1	5,694	0.0000	0.0032	901	812	10	20	2	1	1,745	0	1	1	1,746	
ブロックL5	0.067	125	49	12	0	5,117	0.0000	0.0021	809	713	526	50	0	0	2,098	0	1	1	2,099	
ブロックL6	0.029	5	2	2	0	963	0.0000	0.0000	153	29	2	0	0	0	185	0	0	0	185	
ブロックL7	0.083	68	27	7	0	1540	0.0053	0.0000	244	397	18	15	0	0	674	1	0	1	674	
ブロックL8	0.027	57	22	12	0	3672	0.0000	0.0000	581	326	24	37	0	0	967	0	0	0	967	
ブロックL9	0.016	14	5	13	0	384	0.0000	0.0000	61	73	24	37	0	0	195	0	0	0	195	
ブロックR1	2.963	5,640	2,290	3,616	9	421,846	0.0354	0.0085	67,660	33,564	14,015	10,848	16	4	126,107	4	2	6	126,113	
ブロックR2	0.466	1,033	361	137	4	54,616	0.0467	0.0000	8,761	5,293	479	220	7	2	14,763	5	0	5	14,768	
ブロックR3	0.293	840	317	27	2	17,971	0.0080	0.0000	2,885	4,639	720	91	4	1	8,340	1	0	1	8,341	
ブロックR4	0.075	96	35	13	1	4,193	0.0000	0.0000	673	516	25	26	2	0	1,242	0	0	0	1,242	
ブロックR5	0.240	339	124	42	3	20,107	0.0000	0.0080	3,225	1,824	80	85	5	1	5,221	0	2	2	5,223	
ブロックR6	0.136	215	72	22	3	7,976	0.0000	0.0106	1,280	1,050	61	66	5	1	2,463	0	2	2	2,465	
ブロックR7	0.064	54	21	15	0	6,288	0.0000	0.0000	1,009	308	56	63	0	0	1,436	0	0	0	1,436	
ブロックR8	0.075	22	9	0	0	1,178	0.0000	0.0040	189	130	1	0	0	0	320	0	1	1	321	
ブロックR9	0.072	73	29	1	0	4,608	0.0000	0.0053	739	429	7	0	0	0	1,175	0	1	1	1,176	
ブロックR10	0.117	30	18	200	0	22,244	0.0000	0.0027	3,567	264	848	892	0	0	5,570	0	1	1	5,571	
ブロックR11	0.029	13	8	0	1	1,348	0.0000	0.0000	216	117	0	0	2	0	336	0	0	0	336	
合計	10.997	26,565	10,435	12,484	85	1,974,958	0.1592	0.1792	313,616	152,924	46,111	33,515	155	38	546,360	18	53	71	546,429	

様式-3

被害額 (事業実施前)

水系名: 小瀬川水系

河川名: 小瀬川 (H24年末河道)

流量規模: 1/50

汎濫 ブロック	家屋	家庭用品	一般資産被害額				小計	農作物被害額			公共土木施設等被害額	営業停止 損失	家屋における 応急対策費用			事業所における 応急対策費用	その他の 間接被害	小計	合計	備考	
			事業所資産		農漁家資産			水稲	畑作物	清掃労働 対価			代替活動 等	小計							
			償却	在庫	償却	在庫															
ブロックL1	777	161	276	93	0	0	1,307	0	11	11	2,351	0	0	0	0	0	0	0	3,669		
ブロックL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL7	7	27	0	0	0	0	34	0	0	0	59	1	1	2	0	0	0	2	95		
ブロックL8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR1	852	161	459	220	0	0	1,692	11	0	11	3,045	0	0	0	0	0	0	0	4,748		
ブロックR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR10	31	2	0	0	0	0	33	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0	89		
ブロックR11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1,667	351	735	313	0	0	3,066	11	11	22	5,511	0	1	1	2	0	0	2	8,601		

様式-3

被害額 (事業実施前)

水系名: 小瀬川水系

河川名: 小瀬川 (H24年末河道)

流量規模: 1/80

汎濫 ブロック	家屋	家庭用品	一般資産被害額				小計	農作物被害額			公共土木施設等被害額	営業停止 損失	家屋における 応急対策費用			事業所における 応急対策費用	その他の 間接被害	小計	合計	備考	
			事業所資産		農漁家資産			水稲	畑作物	清掃労働 対価			代替活動 等	小計							
			償却	在庫	償却	在庫															
ブロックL1	1,265	320	535	191	0	0	2,311	0	12	12	4,160	0	0	0	0	0	0	0	6,483		
ブロックL2	112	81	22	12	0	0	227	0	1	1	386	7	3	5	8	8	0	23	637		
ブロックL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL7	14	43	0	0	0	0	57	0	0	0	96	0	2	2	4	0	0	4	157		
ブロックL8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR1	1,814	540	738	360	0	0	3,452	13	0	13	6,214	0	0	0	0	0	0	0	9,679		
ブロックR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR5	59	35	3	2	0	0	99	0	0	0	168	1	2	3	5	2	0	8	275		
ブロックR6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR10	44	4	0	0	0	0	48	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	0	131		
ブロックR11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	3,308	1,023	1,298	565	0	0	6,194	13	13	26	11,107	8	7	10	17	10	0	35	17,362		

様式-3

被害額 (事業実施前)

水系名: 小瀬川水系

河川名: 小瀬川 (H24年末河道)

流量規模: 1/100

汎濫 ブロック	家屋	家庭用品	一般資産被害額				小計	農作物被害額			公共土木施設等被害額	営業停止 損失	家屋における 応急対策費用			事業所における 応急対策費用	その他の 間接被害	小計	合計	備考	
			事業所資産		農漁家資産			水稲	畑作物	清掃労働 対価			代替活動 等	小計							
			償却	在庫	償却	在庫															
ブロックL1	1,758	465	713	259	0	0	3,195	0	12	12	5,751	0	0	0	0	0	0	0	8,958		
ブロックL2	112	81	22	12	0	0	227	0	1	1	386	7	3	5	8	8	0	23	637		
ブロックL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL7	14	43	0	0	0	0	57	0	0	0	96	0	2	2	4	0	0	4	157		
ブロックL8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR1	2,473	707	973	478	0	0	4,631	13	0	13	8,336	0	0	0	0	0	0	0	12,980		
ブロックR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR5	59	35	3	2	0	0	99	0	0	0	168	1	2	3	5	2	0	8	275		
ブロックR6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR10	44	4	0	0	0	0	48	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	0	131		
ブロックR11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	4,460	1,335	1,711	751	0	0	8,257	13	13	26	14,820	8	7	10	17	10	0	35	23,138		

様式-3 被害額 (事業実施後) 水系名:小瀬川水系 河川名:小瀬川 (整備計画河道) 流量規模:1/50

汎濫 ブロック	家屋	家庭用品	一般資産被害額				小計	農作物被害額			公共土木施設等被害額	営業停止 損失	家屋における 応急対策費用			事業所における 応急対策費用	その他の 間接被害	小計	合計	備考
			事業所資産		農漁家資産			水稲	畑作物	清掃労働 対価			代替活動 等	小計						
			償却	在庫	償却	在庫														
ブロックL1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

様式-3 被害額 (事業実施後) 水系名:小瀬川水系 河川名:小瀬川 (整備計画河道) 流量規模:1/80

汎濫 ブロック	家屋	家庭用品	一般資産被害額				小計	農作物被害額			公共土木施設等被害額	営業停止 損失	家屋における 応急対策費用			事業所における 応急対策費用	その他の 間接被害	小計	合計	備考
			事業所資産		農漁家資産			水稲	畑作物	清掃労働 対価			代替活動 等	小計						
			償却	在庫	償却	在庫														
ブロックL1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

様式-3 被害額 (事業実施後) 水系名:小瀬川水系 河川名:小瀬川 (整備計画河道) 流量規模:1/100

汎濫 ブロック	家屋	家庭用品	一般資産被害額				小計	農作物被害額			公共土木施設等被害額	営業停止 損失	家屋における 応急対策費用			事業所における 応急対策費用	その他の 間接被害	小計	合計	備考
			事業所資産		農漁家資産			水稲	畑作物	清掃労働 対価			代替活動 等	小計						
			償却	在庫	償却	在庫														
ブロックL1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

様式-3

被害額 (事業実施後)

水系名: 小瀬川水系

河川名: 小瀬川 (当面整備後河道)

流量規模: 1/50

汎濫 ブロック	家屋	家庭用品	一般資産被害額				小計	農作物被害額			公共土木施設等被害額	営業停止 損失	家屋における 応急対策費用			事業所における 応急対策費用	その他の 間接被害	小計	合計	備考	
			事業所資産		農漁家資産			水稲	畑作物	清掃労働 対価			代替活動 等	小計							
			償却	在庫	償却	在庫															
ブロックL1	730	142	232	80	0	1,184	0	11	11	2,130	0	0	0	0	0	0	0	0	3,325		
ブロックL2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL7	7	27	0	0	0	34	0	0	0	59	0	1	1	2	0	0	0	2	95		
ブロックL8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR1	613	161	391	178	0	1,343	11	0	11	2,417	0	0	0	0	0	0	0	0	3,771		
ブロックR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR10	31	2	0	0	0	33	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	89		
ブロックR11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1,381	332	623	258	0	2,594	11	11	22	4,662	0	1	1	2	0	0	2	0	2	7,280	

様式-3

被害額 (事業実施後)

水系名: 小瀬川水系

河川名: 小瀬川 (当面整備後河道)

流量規模: 1/80

汎濫 ブロック	家屋	家庭用品	一般資産被害額				小計	農作物被害額			公共土木施設等被害額	営業停止 損失	家屋における 応急対策費用			事業所における 応急対策費用	その他の 間接被害	小計	合計	備考	
			事業所資産		農漁家資産			水稲	畑作物	清掃労働 対価			代替活動 等	小計							
			償却	在庫	償却	在庫															
ブロックL1	1,202	275	372	134	0	1,983	0	11	11	3,571	0	0	0	0	0	0	0	0	5,565		
ブロックL2	112	81	22	12	0	227	0	1	1	386	7	3	5	8	8	0	0	23	637		
ブロックL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL7	14	43	0	0	0	57	0	0	0	96	0	2	2	4	0	0	4	0	157		
ブロックL8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR1	1,118	538	655	307	0	2,618	13	0	13	4,714	0	0	0	0	0	0	0	0	7,345		
ブロックR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR10	44	4	0	0	0	48	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	0	0	131		
ブロックR11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	2,490	941	1,049	453	0	4,933	13	12	25	8,850	7	5	7	12	8	0	27	13,835			

様式-3

被害額 (事業実施後)

水系名: 小瀬川水系

河川名: 小瀬川 (当面整備後河道)

流量規模: 1/100

汎濫 ブロック	家屋	家庭用品	一般資産被害額				小計	農作物被害額			公共土木施設等被害額	営業停止 損失	家屋における 応急対策費用			事業所における 応急対策費用	その他の 間接被害	小計	合計	備考	
			事業所資産		農漁家資産			水稲	畑作物	清掃労働 対価			代替活動 等	小計							
			償却	在庫	償却	在庫															
ブロックL1	1,604	386	547	200	0	2,737	0	12	12	4,928	0	0	0	0	0	0	0	7,677			
ブロックL2	112	81	22	12	0	227	0	1	1	386	7	3	5	8	8	0	23	637			
ブロックL3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL7	14	43	0	0	0	57	0	0	0	96	0	2	2	4	0	0	4	0	157		
ブロックL8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックL9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR1	1,542	704	879	416	0	3,541	13	0	13	6,373	0	0	0	0	0	0	0	0	9,927		
ブロックR2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブロックR10	44	4	0	0	0	48	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	0	0	131		
ブロックR11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	3,316	1,218	1,448	628	0	6,610	13	13	26	11,866	7	5	7	12	8	0	27	18,529			

様式-3 被保険者（事業実施前） 水系名：小瀬川水系 河川名：小瀬川（H24年～H27年） 流量規模：100 単位：百万円

様式-3 被保険者（事業実施前） 水系名：小瀬川水系 河川名：小瀬川（H24年～H27年） 流量規模：100 単位：百万円

様式-3 被保険者（事業実施前） 水系名：小瀬川水系 河川名：小瀬川（H24年～H27年） 流量規模：100 単位：百万円

様式-3 被保険者（事業実施前） 水系名：小瀬川水系 河川名：小瀬川（H24年～H27年） 流量規模：100 単位：百万円

様式-3 被保険者（事業実施前） 水系名：小瀬川水系 河川名：小瀬川（H24年～H27年） 流量規模：100 単位：百万円

様式-3 被保険者（事業実施前） 水系名：小瀬川水系 河川名：小瀬川（H24年～H27年） 流量規模：100 単位：百万円

様式-3 被保険者（事業実施前） 水系名：小瀬川水系 河川名：小瀬川（H24年～H27年） 流量規模：100 単位：百万円

様式-3 被保険者（事業実施前） 水系名：小瀬川水系 河川名：小瀬川（H24年～H27年） 流量規模：100 単位：百万円

①全体事業 (H25～H54)

様式-4 年平均被害軽減期待額

水系名：小瀬川水系 河川名：小瀬川

対象河道：H24年末河道→整備計画河道

(単位：百万円)

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額 ④	区間確率 ⑤	年平均被害額 ④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額	備考
		事業を実施しない場合 ①	事業を実施した場合 ②	軽減額 ③=①-②					
1/1	1.000	0	0	0	—	—	—	0	
1/2	0.500	2,761	0	2,761	1,381	0.500	690	690	
1/5	0.200	3,455	0	3,455	3,108	0.300	932	1,623	
1/10	0.100	4,191	0	4,191	3,823	0.100	382	2,005	
1/20	0.050	4,741	0	4,741	4,466	0.050	223	2,228	
1/30	0.033	6,313	0	6,313	5,527	0.017	92	2,320	
1/50	0.020	8,601	0	8,601	7,457	0.013	99	2,420	
1/80	0.013	17,362	0	17,362	12,982	0.008	97	2,517	
1/100	0.010	23,138	0	23,138	20,250	0.003	51	2,568	

②当面事業 (H25～H31)

様式-4 年平均被害軽減期待額

水系名：小瀬川水系 河川名：小瀬川

対象河道：H24年末河道→整備計画河道

(単位：百万円)

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額 ④	区間確率 ⑤	年平均被害額 ④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額	備考
		事業を実施しない場合 ①	事業を実施した場合 ②	軽減額 ③=①-②					
1/1	1.000	0	0	0	—	—	—	0	
1/2	0.500	2,761	2,635	126	63	0.500	32	32	
1/5	0.200	3,455	3,235	220	173	0.300	52	83	
1/10	0.100	4,191	4,003	188	204	0.100	20	104	
1/20	0.050	4,741	4,377	364	276	0.050	14	118	
1/30	0.033	6,313	5,636	677	521	0.017	9	126	
1/50	0.020	8,601	7,280	1,321	999	0.013	13	140	
1/80	0.013	17,362	13,835	3,527	2,424	0.008	18	158	
1/100	0.010	23,138	18,529	4,609	4,068	0.003	10	168	

②当面事業 (H25～H31)

様式-4 年平均被害軽減期待額 (河道) 水系名:小瀬川水系 河川名:小瀬川 対象河道:H24年末河道→当面整備後河道 (単位:百万円)

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額 ④	区間確率 ⑤	年平均被害額 ④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額	備考
		事業を実施しない場合 ①	事業を実施した場合 ②	軽減額 ③=①-②					
1/2	0.500	0	0	0	-	-	-	0	
1/5	0.200	0	0	0	0	0.300	0	0	
1/10	0.100	30	30	0	0	0.100	0	0	
1/20	0.050	77	77	0	0	0.050	0	0	
1/30	0.033	125	125	0	0	0.017	0	0	
1/50	0.020	184	184	0	0	0.013	0	0	
1/80	0.013	1,200	925	275	138	0.008	1	1	
1/100	0.010	1,200	925	275	275	0.003	1	2	

②当面事業 (H25～H31)

様式-4 年平均被害軽減期待額 (高潮) 水系名:小瀬川水系 河川名:小瀬川 対象河道:H24年末河道→当面整備後河道 (単位:百万円)

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額 ④	区間確率 ⑤	年平均被害額 ④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額	備考
		事業を実施しない場合 ①	事業を実施した場合 ②	軽減額 ③=①-②					
1/1	1.000	0	0	0	-	-	-	0	
1/2	0.500	2,761	2,635	126	63	0.500	32	32	
1/5	0.200	3,455	3,235	220	173	0.300	52	83	
1/10	0.100	4,161	3,973	188	204	0.100	20	104	
1/20	0.050	4,664	4,300	364	276	0.050	14	118	
1/30	0.033	6,188	5,511	677	521	0.017	9	126	
1/50	0.020	8,417	7,096	1,321	999	0.013	13	140	
1/80	0.013	16,162	12,910	3,252	2,287	0.008	17	157	
1/100	0.010	21,938	17,604	4,334	3,793	0.003	9	166	

②当面事業 (H25～H31)

様式-4 年平均被害軽減期待額 (合算) 水系名:小瀬川水系 河川名:小瀬川 対象河道:H24年末河道→当面整備後河道 (単位:百万円)

確率規模	超過確率	被害額			区間平均被害額 ④	区間確率 ⑤	年平均被害額 ④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減期待額	備考
		事業を実施しない場合 ①	事業を実施した場合 ②	軽減額 ③=①-②					
1/1	1.000	0	0	0	-	-	-	0	
1/2	0.500	2,761	2,635	126	63	0.500	32	32	
1/5	0.200	3,455	3,235	220	173	0.300	52	83	
1/10	0.100	4,191	4,003	188	204	0.100	20	104	
1/20	0.050	4,741	4,377	364	276	0.050	14	118	
1/30	0.033	6,313	5,636	677	521	0.017	9	126	
1/50	0.020	8,601	7,280	1,321	999	0.013	13	140	
1/80	0.013	17,362	13,835	3,527	2,424	0.008	18	158	
1/100	0.010	23,138	18,529	4,609	4,068	0.003	10	168	

年次	年度	t	便 益 【単位：百万円】				費 用 【単位：百万円】						費用 便益比 B/C	純現在 価値 B-C
			便益①		残存価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④			
			便益	現在価値			費用	現在価値	費用	現在価値	費用	現在価値		
整備期間 30年	H24	0	0	0			0	0	0.000	0.000	0	0		
	H25	1	0	0			240	231	0.000	0.000	240	231		
	H26	2	0	0			287	266	0.000	0.000	287	266		
	H27	3	0	0			347	309	0.000	0.000	347	309		
	H28	4	0	0			366	313	0.154	0.000	366	313		
	H29	5	53	44			233	192	0.887	1.000	234	193		
	H30	6	103	82			149	118	1.465	1.000	150	119		
	H31	7	136	104			149	113	1.875	1.000	150	114		
	H32	8	168	123			360	264	2.285	2.000	363	266		
	H33	9	272	192			360	254	2.900	2.000	363	256		
	H34	10	377	255			360	244	3.866	3.000	364	247		
	H35	11	481	313			360	235	3.866	3.000	364	238		
	H36	12	585	366			360	226	4.202	3.000	364	229		
	H37	13	690	415			360	217	4.780	3.000	365	220		
	H38	14	794	459			360	209	5.358	3.000	366	212		
	H39	15	898	500			360	201	5.358	3.000	366	204		
	H40	16	1,003	536			360	193	5.358	3.000	366	196		
	H41	17	1,107	570			360	186	5.358	3.000	366	189		
	H42	18	1,211	599			382	189	5.358	3.000	388	192		
	H43	19	1,316	626			382	182	5.358	3.000	388	185		
	H44	20	1,420	650			382	175	5.358	2.000	388	177		
	H45	21	1,525	670			382	168	6.791	3.000	389	171		
	H46	22	1,629	688			382	162	7.109	3.000	389	165		
	H47	23	1,733	704			382	156	7.158	3.000	389	159		
	H48	24	1,838	719			382	150	7.158	3.000	389	153		
	H49	25	1,942	731			382	144	8.495	3.000	391	147		
	H50	26	2,046	739			382	139	8.495	3.000	391	142		
	H51	27	2,151	747			382	133	8.495	3.000	391	136		
	H52	28	2,255	754			437	147	9.472	3.000	447	150		
	H53	29	2,359	758			437	141	10.926	4.000	448	145		
H54	30	2,464	762			437	136	11.419	4.000	449	140			
施設完成後の 評価期間 50年	H55	31	2,568	763					11.419	3.000	11	3		
	H56	32	2,568	735					11.419	3.000	11	3		
	H57	33	2,568	707					11.419	3.000	11	3		
	H58	34	2,568	678					11.419	3.000	11	3		
	H59	35	2,568	653					11.419	3.000	11	3		
	H60	36	2,568	627					11.419	3.000	11	3		
	H61	37	2,568	604					11.419	3.000	11	3		
	H62	38	2,568	581					11.419	3.000	11	3		
	H63	39	2,568	558					11.419	2.000	11	2		
	H64	40	2,568	537					11.419	2.000	11	2		
	H65	41	2,568	517					11.419	2.000	11	2		
	H66	42	2,568	496					11.419	2.000	11	2		
	H67	43	2,568	478					11.419	2.000	11	2		
	H68	44	2,568	460					11.419	2.000	11	2		
	H69	45	2,568	442					11.419	2.000	11	2		
	H70	46	2,568	424					11.419	2.000	11	2		
	H71	47	2,568	409					11.419	2.000	11	2		
	H72	48	2,568	393					11.419	2.000	11	2		
	H73	49	2,568	378					11.419	2.000	11	2		
	H74	50	2,568	363					11.419	2.000	11	2		
	H75	51	2,568	350					11.419	2.000	11	2		
	H76	52	2,568	337					11.419	1.000	11	1		
	H77	53	2,568	324					11.419	1.000	11	1		
	H78	54	2,568	311					11.419	1.000	11	1		
	H79	55	2,568	298					11.419	1.000	11	1		
	H80	56	2,568	288					11.419	1.000	11	1		
	H81	57	2,568	275					11.419	1.000	11	1		
	H82	58	2,568	265					11.419	1.000	11	1		
	H83	59	2,568	255					11.419	1.000	11	1		
	H84	60	2,568	247					11.419	1.000	11	1		
	H85	61	2,568	237					11.419	1.000	11	1		
H86	62	2,568	226					11.419	1.000	11	1			
H87	63	2,568	219					11.419	1.000	11	1			
H88	64	2,568	211					11.419	1.000	11	1			
H89	65	2,568	203					11.419	1.000	11	1			
H90	66	2,568	196					11.419	1.000	11	1			
H91	67	2,568	188					11.419	1.000	11	1			
H92	68	2,568	180					11.419	1.000	11	1			
H93	69	2,568	173					11.419	1.000	11	1			
H94	70	2,568	167					11.419	1.000	11	1			
H95	71	2,568	160					11.419	1.000	11	1			
H96	72	2,568	155					11.419	1.000	11	1			
H97	73	2,568	149					11.419	1.000	11	1			
H98	74	2,568	142					11.419	1.000	11	1			
H99	75	2,568	137					11.419	1.000	11	1			
H100	76	2,568	131					11.419	1.000	11	1			
H101	77	2,568	126					11.419	1.000	11	1			
H102	78	2,568	121					11.419	1.000	11	1			
H103	79	2,568	119					11.419	1.000	11	1			
H104	80	2,568	113					11.419	1.000	11	1			
合計			158,956	30,212	70	30,282 =B	10,508	5,793	720	150	11,228	5,943 =C	5.0 =B/C	24,339

年次	年度	t	便 益 【単位：百万円】				費 用 【単位：百万円】						費用 便益比 B/C	純現在 価値 B-C
			便益①		残存価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④			
			便益	現在価値			費用	現在価値	費用	現在価値	費用	現在価値		
整備 期間 7年	H24	0	0	0			0	0	0	0	0	0		
	H25	1	0	0			240	231	0	0	240	231		
	H26	2	0	0			287	266	0	0	287	266		
	H27	3	0	0			347	309	0	0	347	309		
	H28	4	0	0			366	313	0	0	366	313		
	H29	5	53	44			233	192	1	1	234	193		
	H30	6	103	82			149	118	1	1	150	119		
H31	7	136	104			149	113	2	1	150	114			
施設 完成 後の 評価 期間 50年	H32	8	168	123					2	2	2	2		
	H33	9	168	119					2	2	2	2		
	H34	10	168	114					2	2	2	2		
	H35	11	168	110					2	1	2	1		
	H36	12	168	105					2	1	2	1		
	H37	13	168	101					2	1	2	1		
	H38	14	168	98					2	1	2	1		
	H39	15	168	94					2	1	2	1		
	H40	16	168	90					2	1	2	1		
	H41	17	168	87					2	1	2	1		
	H42	18	168	83					2	1	2	1		
	H43	19	168	80					2	1	2	1		
	H44	20	168	77					2	1	2	1		
	H45	21	168	74					2	1	2	1		
	H46	22	168	71					2	1	2	1		
	H47	23	168	69					2	1	2	1		
	H48	24	168	66					2	1	2	1		
	H49	25	168	64					2	1	2	1		
	H50	26	168	61					2	1	2	1		
	H51	27	168	59					2	1	2	1		
	H52	28	168	57					2	1	2	1		
	H53	29	168	54					2	1	2	1		
	H54	30	168	52					2	1	2	1		
	H55	31	168	50					2	1	2	1		
	H56	32	168	49					2	1	2	1		
	H57	33	168	47					2	1	2	1		
	H58	34	168	45					2	1	2	1		
	H59	35	168	43					2	1	2	1		
	H60	36	168	41					2	1	2	1		
	H61	37	168	40					2	1	2	1		
	H62	38	168	38					2	1	2	1		
	H63	39	168	37					2	0	2	0		
	H64	40	168	36					2	0	2	0		
	H65	41	168	34					2	0	2	0		
H66	42	168	33					2	0	2	0			
H67	43	168	32					2	0	2	0			
H68	44	168	31					2	0	2	0			
H69	45	168	29					2	0	2	0			
H70	46	168	28					2	0	2	0			
H71	47	168	27					2	0	2	0			
H72	48	168	26					2	0	2	0			
H73	49	168	25					2	0	2	0			
H74	50	168	24					2	0	2	0			
H75	51	168	23					2	0	2	0			
H76	52	168	23					2	0	2	0			
H77	53	168	22					2	0	2	0			
H78	54	168	21					2	0	2	0			
H79	55	168	20					2	0	2	0			
H80	56	168	19					2	0	2	0			
H81	57	168	18					2	0	2	0			
合計			8,692	2,999	47	3,046 =B	1,770	1,542	119	37	1,888	1,579 =C	1.9 =B/C	1,467

事業費の内訳書

河川事業

事業名	小瀬川水系直轄河川改修事業(全体事業費)
-----	----------------------

評価年度	H24	再評価
------	-----	-----

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費	本工事費		式	1	5,591	
			式	1	5,416	
		河道掘削	千m ³	47	225	
		築堤	〃	90	364	
		護岸	千m ²	66	1,544	
		その他	式	1	3,283	
	付帯工事費		式	1	175	
		堰等	箇所	0	0	
	橋梁	箇所	3	218		
用地費及び補償費			式	1	1,575	
	用地費		式	1	785	
	補償費		式	1	790	
間接経費等					3,342	
事業費 計					10,508	

維持管理費			式		720	
-------	--	--	---	--	-----	--

事業費の内訳書

河川事業

事業名	小瀬川水系直轄河川改修事業(当面事業費)
-----	----------------------

評価年度	H24	再評価
------	-----	-----

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費	本工事費		式	1	948	
			式	1	863	
		河道掘削	千m ³	23	117	
		築堤	〃	14	46	
		護岸	千m ²	22	611	
		その他	式	1	89	
	付帯工事費		式	1	85	
		堰等	箇所	0	0	
	橋梁	箇所	1	128		
用地費及び補償費			式	1	329	
	用地費		式	1	182	
	補償費		式	1	147	
間接経費等					493	
事業費 計					1,770	

維持管理費			式		119	
-------	--	--	---	--	-----	--

小瀬川直轄河川改修事業
〔広島県への意見照会と回答〕



国中整企画第55号
国中整港計第11号
平成24年11月21日

広島県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成24年12月14日(金)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
小瀬川直轄河川改修事業	継続	

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道185号 休山改良	継続	
中国横断自動車道 尾道松江線 (尾道～三次)	継続	
中国横断自動車道 尾道松江線 (三次～三刀屋木次)	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限：平成24年12月4日(火)までをお願いします。

※様式自由

■送付先

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6-30

中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 藤原

教習係長 松田

TEL:082-221-9231(代表)

FAX:082-227-2651

土 総 第 2 3 号
平成24年12月3日

中国地方整備局長 様

広島県知事



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について（回答）

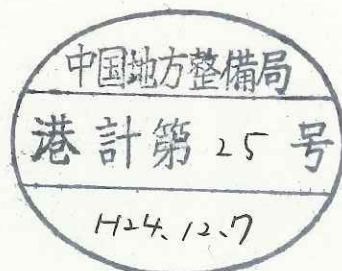
平成24年11月21日付け国中整企画第55号及び国中整港計第11号で照会のあ
った下記事業について、対応方針（原案）案については異存ありません。

なお、個別の事業についての意見は別紙のとおりです。

記

- ・ 河川事業 小瀬川直轄河川改修事業

以上



担当

土木総務課経営戦略グループ

電話 082-513-3816

FAX 082-223-3593

(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）案に対する意見

【河川事業】

事業名	小瀬川直轄河川改修事業
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	異存はありません
(具体的意見) 治水安全度の向上，費用対効果，地元の協力体制等の観点からも事業の継続に異議はありません。 今後も引き続きコストの縮減に努めながら，計画的に整備を進めていただきたい。	

小瀬川直轄河川改修事業
〔山口県への意見照会と回答〕

国中整企画第55号
国中整港計第11号
平成24年11月21日

山口県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成24年12月14日(金)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

(別紙)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
小瀬川直轄河川改修事業	継続	

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号 小月バイパス	継続	
一般国道191号 下関北バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限 : 平成24年12月4日(火)までにお願いします。

※様式自由

■送付先

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6-30

中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 藤原

教習係長 松田

TEL:082-221-9231(代表)

FAX:082-227-2651



平24技術管理 第 487 号
平成24年(2012年) 12月 4日

中国地方整備局長 様

山口県知事 山本 繁太郎

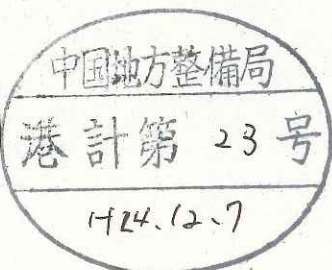


中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る
意見照会について(回答)

平成24年11月21日付け国中整企画第55号で意見照会がありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

事業名	小瀬川直轄河川改修事業
「対応方針(原案)」案に対する意見 【「対応方針(原案)」案:継続】	異存なし
(意見) ・早期完成に向け、コスト縮減等に配慮の上、引き続き計画的に事業を進めていただきたい。 ・河川整備計画を早期に策定されるよう要望する。	
事業名	一般国道2号 小月バイパス
「対応方針(原案)」案に対する意見 【「対応方針(原案)」案:継続】	異存なし
(意見) ・平成28年度の供用に向け、コストの縮減等に配慮の上、引き続き計画的に事業を進めていただきたい。	
事業名	一般国道191号 下関北バイパス
「対応方針(原案)」案に対する意見 【「対応方針(原案)」案:継続】	異存なし
(意見) ・平成26年度の供用に向け、コストの縮減等に配慮の上、引き続き計画的に事業を進めていただきたい。	



担当
土木建築部技術管理課
企画班 田中 英樹
TEL 083-933-3632/FAX 083-933-3669